年中無休刊（日曜祭日の翌日休刊）　大正八年三月九日　THE KEIJO NIPPO　第四千百十號（一）（明治三十九年八月廿八日第三種郵便物認可）

京城日報

京城太平通二丁目　發行所 合資會社京城日報社　發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介

三月八日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇正式講和會議期
二十日頃條件を獨逸委員に提示

ウイルソン氏は十三日頃再び巴里に來るべし而して講和會議各種委員會は目下重大問題の審議に忙しくウ氏の渡佛迄には之等諸問題を片付け得べき程度迄進捗せしめんとしつゝあり而して之等委員の觀測する所に依ればウイルソン氏は來る十八日迄に講和會議事業を總括し二十日頃にはヴエルサイユに於て獨逸講和委員に對し講和條件を提示し得べく斯くて四月上旬には獨逸代表者を加へての正式講和會議を開催し得るに至るべし（巴里電報）

◇園侯聯盟陳述

西園寺侯曰く予はクレマンソー氏が速かに回復せるを聞き欣喜に堪へず日本は西洋に於けると同樣東洋に於ても恒久的平和の維持されん事を希望し且つ正義と公平とに基く國際聯盟を主張す予は支那が日本の友誼的教導に對する意志の眞實を確知するに至るべきを信じて疑はず（巴里電報）

◇聯盟目的と記錄

國際聯盟反對決議案は米國上院にて否決されたるも同提出の目的は上院の記錄に存する事となりたり（英國新聞＝東京特電）

◇聯盟賛同電報接受

米國講和委員は四日ウイルソン氏より『余は米國民が絶對多數を以て國際聯盟案に賛同すべきことを信ず』との電報を接受し非常に欣び居れり（巴里電報）

◇佛對獨食糧容認

佛國は對獨食糧供給問題に關し『聯合國は獨逸が中立國に於る私的信用を利用して聯合國側より食糧を購入することを許容せざるべからず』との主義を容認したり但し佛國は未だ之れに調印するに至らざるが要するに本問題に關する講和會議の危機は之に依りて大いに改善せられたり（巴里電報）

◇波委員ポーゼンへ出發

フルソー來電＝波蘭より派遣せし委員は波蘭國境に關する休戰條件の實行に關し獨逸委員と會合せんが爲め三月一日ポーゼンに向け出發せり（倫敦電報）

◇米上院海軍豫算贊成

華盛頓來電に依れば米國上院海軍委員會は七億二千萬弗の海軍豫算に對して贊成せる旨を報告し且つ主として出征米國軍隊の歸還を促進する爲め必要なりとの理由の下に海軍兵力を現在の二十二萬五千人より二十五萬人に增加せんことを勸告せり又二十六日の海軍委員會に於て大統領ウイルソン氏は今期議會に於て新に三年計畫案の完備を爲すことの必要なる旨を力說せり（倫敦電報）

◇獨新陸軍案通過

ワイマール來電に依れば獨逸國民議會は新陸軍案を通過したるが同案は獨逸陸軍の勢力をして第三等國の標準を越えざらしむるものなり（倫敦電報）

◇過激軍全く屏息

ユフカ及バルフカ附近の戰闘に敗北せる敵は今や士氣衰へ全く鬪志無く一日解散するか或は支那領に遁入せんとしつゝあり因に黑龍江哥薩克大隊は今回の戰闘に於て我軍と協同し多大の援助を與へたり（浦鹽電報）

◇山田少將の命令
沿黑龍州住民に對し

沿黑龍州日本軍司令官山田少將は今回露國沿黑龍州司令官の名義を以て住民に左の如き命令を發せり（浦鹽電報）

（一）過激派の手に歸せる村落は日本軍に於て之を燒棄すべし
（二）村民自ら過激派を驅逐せし場合は該村落に手を觸れず、燒棄せられたる村落の老幼は日本軍に於て之を扶養す
（三）若し過激派の陰謀を發見したる際は直ちに日本軍司令官に通告すべし

◇日銀總裁後任

日本銀行總裁の後任に就ては井上正金銀行頭取の就任說有力なるが一方勝田主計氏說傳へられつゝあり（東京特電）

◎俘虜兵の自白
過激派再擧顛末

今回我軍と大戰鬪を交へたる黑龍州の過激派軍はムーヒン、クラスノジチヨコフの指揮に據るもの、如く今や極東に於ける其兵數約五千に達し居る模樣なり過激派軍は昨夏我軍の爲めに討伐さる、逸ごなり殘兵は四散して良民の風を裝ひ其首領株はヤクーツク州又はバイカル湖北方ボダイボ等に頒竄し居たるが最近我軍が獲取せる過激派の文書に據れば爾來彼等は隱微の間に

▲各地と聯絡を執り 極めて秘密裡に各地へ支部を設置する等系統ある組織ある行動に出で秘かに再擧を圖り居たり而して各部の有力者並に村長等を手中に丸め込み之を使嗾して鋭意勢力の伸張に努力し時機到來を待ち昔時の赤衛軍を解散して國民自由軍なるものを編成せり曩に我守備隊がミヤザノアに於て小戰闘を交へたる如きは偶々其計畫の一端を示したるものなり過回のユフタ附近の戰闘にて捕虜とせる一兵卒の言に據れば歐露の過激派本部とも氣脈を通じ黑龍州、沿海州、後貝加爾州の各支部と連絡を執り着々再起の準備中日本軍が大部歸還せるを知り是即ち全軍の撤退なりと誤認したる結果或時期を劃し

▲各州一樣に蹶起の作戰を執りたるが統一を缺くる處ありたる爲最先に黑龍州方面に旗を擧げ我軍に擊退されたるもの、如し彼等の地方に於けるプロガンダの一例を示せば日本は過激派を討伐すると稱するも過激派と良民との間に差別を設けずして民衆に多大の損害を與へ其自由を侵害し到る處の村落へ自衛軍（露國哥薩克軍隊）を案內として入り込める事が自衛軍が金品を强奪し婦女子に陵辱を加へつゝあるに對しても默過放任寧ろ援助し居る傾向あり故に我等は自衛の必要上對抗せんとするなりと稱し居れりと尙過激派軍中にはゼーヤ附近に於ける

▲支那の居留民 並に勞働者多數參加し隨つて過般の戰鬪に於て支那人の死傷者相當含まれ居るが之に對し露支國境の支那官憲は其眞相を確めずして日本軍の行動公正を缺けりと稱し本國政府等に報告せる者の如し尙支那國境センキ島に於ける過激派代表者を招致して其主張を聽取せんとしつゝあるに際し一面極東過激派を討伐する軍司令官は日本が列國と協調ブリするは矛盾極まる處置也として反日機運の醸成に努め居れりと

◎財界の巨星殞つ
三島子爵の人物＝財界の爲に惜しむ＝今後の影響如何＝

▼嘉納副總裁談 八日の朝まで與は癒せられぬければご逝去は事實のやうだ實に惜い人を失くしたと悲しんでゐる、私が子爵と相知つたのは明治四十四年橫濱稅關長時代からで

▲當時子爵は橫濱正金の頭取であつた、正金銀行には頗る短期間の在任で直ちに日本銀行の總裁に轉ぜられしやう記憶する、子は何人も知れる如く鹿兒島の人で貴族院研究會の頭領である、私も深い私交はないのであるから詳しくは知らぬが要するに子爵は頭腦の極めて綿密な又數理に長け、その記憶力の旺盛なるは驚くべきものがあつた、銀行家は常に數字の中に埋もつてゐるのであるから數字に精通してゐる事は當然の話しなるも何しろ微細な點までよく頭に入れ、その演說や談話を聞いても實に精細を極めたものだつた然も華族に似ず極めて

▲叮嚀親切な又腰の低い人で部下に對しても常時同情を以て引立てて行くといふ風あり、人格は高潔政治的思想にも富まれ識見高く財政經濟に通じ日銀總裁として立派な人であつたと私は信じてゐる、その容貌は寫眞にも見ゆる如く眼光炯々人を射りいかにも猛烈果敢なやうに見ゆるけれどその反面には溫情掬すべき所あり近年リウマチスを患ひ殊に神經痛に惱まれごうも健康狀態佳ならざる眼あり自分でも非常に攝生に注意し假へば夏の夜でも少しく風の入る模樣あれば屏風を立て寢ると云ふ風であつたが突如腦溢血により不歸の客となられしは實に意外である

▲戰後財界 の益々多事ならんとする際、帝國金融界の中心的地位たる日本銀行の總裁には餘程よい人を得たいものと思ふ、又三島子の薨去と財界の影響は恐らく大した事はなからう何故ならば近年の日銀は獨自獨行せず常にその營業は政府の方針に順應しつゝあるため總裁の更迭を見るも大した變りやうは無いのである、又水町副總裁の昇任となれば愈々從來と差はあるまい、唯此際政府に於て何等かの必要上日銀內の空氣を一新せんため他に適材を物色しその新總裁に於て少しく積極方針でもとる事となれば如何であるか然し予は差したる變化はなかるべしと想察してゐる

▼三島頭取談 三島子の薨去は財界多事の際誠に痛恨事である、予は深く子を知らぬ、唯東上の際折々會見した位に過ぎぬ、又予は

▲子と同姓 なるため他人より間違へられし事少からず、旁予は『どうもよく貴下と小生とは間違ひを生じ御迷惑ならん』と挨拶せしに所恭謙溫雅な子爵は『貴下こそ御迷惑ならん』と笑つた事がある、子爵は薩州の俊材で正金銀行頭取より日本銀行總裁に進み鑑識高く理財の跡を受けられしやう思ふ、要するに生ぬきの銀行家ではないから金融業務の細かい事には通ぜられなかつたであらう、然し乍ら大局大所の觀察は誤らず人格高く風姿堂々たる大立者であつた、後任總裁の何人なるか明かならぬ今日、直ちに三島子

▲薨去後の影響 を揣摩する事は不可能であるが予は大した變化影響は子爵他界により財界に起らざるべしと思つてゐる、唯日本銀行現下の營業政策は政府の方針に遵つてゐるのではあるが一部に於ては外國爲替に對する活動要求とか貸出政策の更改とか今少しく日銀の態度が積極的なるやう色々希望の聲がある、新任の總裁に日銀營業方針の更改を斷ずるやうな方針で進む人物を得れば多少なる今後の帝國財界も若干の影響を受けるかも知れぬがこれは

▲未知の問題 である尙ほ三島子の薨去により吾が財界が何等か不安に陥るやうの事は素よりあるまい

第四十一議會植民地問答（十四）
＝衆議院豫算第二分科會（八）

水利計畫如何

▲鈴木度支部長官 御答致します、過日も伺ひましたが食糧の供給と云ふ事に付て、特に朝鮮に於ては意を用ひたが宜からうと云ふやうな、御意見であります、御尤に考へるのであります、此農事の獎勵と云ふことに付ては、極力努めて居るのでありまして昨年の如き二百三十四萬石を輸移出することの出來るに至りましたのも、幾分其爲めと心得るのであります、併し此水利灌漑の便を開くと云ふことは、最も必要であると思ひまして、此事に付きましては、是まで水利組合を獎勵致しまして、成べく之に向つて低利の資金を融通すると云ふ方には努めて居りましたが、尙ほ朝鮮在來の堤堰と申しまする小水利の方法に依りまして、水利を蒙つて居りまする反別が約二十萬町、二十四五萬町にも達して居るやうな有樣であります、故に之に向つては年々補助を致しまして、出來るだけ是等の修繕及改築と云ふ事を促して居るのであります、治水の調査に至りましても、此水利の計畫を立てる必要を認めまして、三四年前から此水利調査と云ふものをやりました、唯今までに先づ調査を完結致しましたもの、即ち水利の第一期計畫とも申しまするものは、全國約三十五六箇所の主なる水利地點を調査致しまして其蒙利面積が十萬六千町歩と云ふことになつて居ります、それで經費が先づ二千萬圓是は昨年初に見積りましたので、今日になりますと此以上多少殖す事とは考へますが、先づ二千五百萬圓掛かる、斯樣に見て居るのであります、之を如何にかして遂行すると云ふことが今日の急務と 斯樣に考へて居ります、是が爲めには色々公債を出しましてとか、或は官營に致したら宜からう、或は其他の議論もありますが、此三十五六箇所は所謂主に溜池等の 組織に依るものが多いのでありまして、十萬六千町歩の蒙利區域も直接に關係して居るのでなく、點々に在るのでありますから、之には寧ろ適當な補助を與へて、民間の資本を以て解決せしむることが宜からう、斯樣に定めまして、本年度先づ此水利組合事業に對する補助金と云ふものを豫算に計上致したのであります、是は其大體の趣意は右申しました 水利の大計畫の遂行にありますが併し政府で調査致したる以外の水利地點を、民間に於て計畫すると云ふことは、是又大に獎勵すべきでありますから、獎勵計畫には必ずしも此地點と限りませぬのであります、それで補助方法は大體政府の方で其設計、及調査を政府の費用でやつてやると云ふ事が一つ、他面に於ては水利資金の 先づ一割五分までな補助しやう、百萬圓掛りますものは十五萬圓程 政府が出さうと云ふ事に致したのであります、尤も政府が調査設計してやると斯う云ふのは、全部の所に及びますことは到底 出來ない事でありますから、此金額にして四萬圓位、其區域二百町歩位以上のものは政府で補助する、是は東洋拓殖會社等の土地等も這入つて居りますのもありますから、さう云ふ大資力の會社踩に政府から補助を受けて居る如き會社のやる事は、政府に於て補助する必要はないと思ひます、其他の者い出願に依つて政府に於て調査設計を致してやる、斯樣に致したい、それで今申したる二百町歩未滿の地方に於て成べく 補助すると云ふことに致して居ります、是は本年特に九萬圓程の金を地方費に之が爲め移しました、地方費は共財源を以てやる事に 致して居ります、それで先刻申しました東洋拓殖會社の如き大資力のあるもの、其他資力の十分に在るもの等も 關係して居りますから、政府に於て調査設計をしてやる必要があると云ふことになります、それで毎年四千町歩位づゝな 政府でやつてやる、斯樣なる積りで本年は別にそれが爲めに人員を 豫算に計上して居りましたのであります、それから今申しましたのは水利の調査でありますが、治水と云ふ事に關係致しましては、是は又別に大に攻究しなければならぬ問題でありまして、餘程愼重なる調査を要するのでありますが、是が茲に四萬圓掛けまして其調査を致したいと云ふことになつて居ります（此項完）

◎棒下げの正期米
朝鮮米界の大動搖

外米產地相場の崩落を材料とする內地定期米市場の買方大活躍買方の崩れ退きは七日の前後場に於て東京大阪神戸共二百五十丁方の慘落たる棒下げを演じたるが八日も素より氣配は減切り弱く東京先物寄附三十一圓七十錢、大阪三十二圓二十錢にて何れも前日の後場止めに比し三四十丁方の下押しなるより朝鮮の米界も此の底拔け的奔落に大動搖を來し仁川期米は買方の必死防戰あるに拘らず先物寄附三十三圓七十錢と前日後場止めに比し百零一丁方大下鞘に寄附き跡內地安氣配と賣り物嵩みに三十二圓九十錢と八十丁方の暴落を告げしが餘りの安値に利喰ひもあり結局三十三圓零三錢と跳ね打止めたるもアト東京後場休會噂もあり氣配は甚だしく軟調にあり京城正米は午前中買方高張り賣方見送りに相場は相立たず又釜山正米は三十四圓五十錢と前日に比し二百丁の暴落を報ぜり

▼前途如何 某有力銀行家談 米價の暴落は底ぬけ氣味なるがその材料たる外米の暴落は尙ほ幾分不離買の嫌ひもあり旁定期市場にては非常の下鞘に叩かれしも此儘暴落すべしとは信ぜられず一反騰を見るか然も大勢觀として低落の趨勢は免れず旁此際手持米の買ひ惜みをなすは結局損を大にし銀行の追窮を受け不利の地位に陷らざるかと考へる尙ほ前途石三十圓を劃る如き事は手近に來らざるにあらずやと思ふ然し乍ら東京期米三十一圓七十錢の不勢と云へば絕無を保し難し唯素より狼狽する事は禁物ならん

▼財界大打擊 遠回の崩落は高値より既に五圓方の下押しなるが朝鮮米の輸移出餘力二百萬石を剩すものとすれば石五圓の下落は輸移出米に於て一千萬圓の打擊を來す譯なり此際米商の倒產破綻者若干を出す事は到底避け難かるべく財界のために悲しむべき事實なるも元來が高張りすぎし米價の低落とて大勢上蓋し止むを得ざる事ならん

◎技術官會議（第五日）

八日午前九時半より總督府第二會議室に於て開會午前午後に亘り小原長官の訓示及び注意事項あり同四時散會したるが同會議は明九日を以て終了すべし

◎土木所長會議延期

十、十一の兩日に亘り總督府に於て開會の筈なりし土木局出張所長會議は都合に依り延期されたるが目下のところ開會期日未定なりと

◎愛婦活動準備

愛國婦人會朝鮮本部にては頃日來京城其他西鮮地方に不逞の群衆蜂起し其騷擾甚だしく之等鎭撫警戒の爲日夜慘澹たる勞苦を嘗め努力しつゝある軍隊憲兵警察官及騷動に依り生じたる死傷者に對し慰問の意を表すべく目下活動の準備中なりと

◎殖銀司事異動

朝鮮殖產銀行にては這回左の如く司事の異動を行ひたり

倚州支店長司事 進藤數雄　本店詰を命ず
開城支店長司事 氷野濤郎　倚州支店長を命ず
商業金融部司事 三好豐太郎　開城支店長を命ず

◎食品支店許可

優に輸出食品株式會社代表者小野金六よりの申請に係る同社支店を元山に設置せんとするの件は三月七日附を以て許可指令ありたるが同社は本店を東京に有し資本金三百十二萬圓を以て食品製造漁業貿易委託販賣魚市場海運倉庫業並に前各項附帶事業を營むものなり

◎入江書記官歸東

國葬參列の爲め滯城中なりし拓殖局書記官入江海平氏は八日朝南大門驛發歸東せり

◎支那公使通過期

駐日支那公使章宗祥氏は一行十二名と共に廿四日東京發朝鮮經由北京に向ふ可しと

◎忘機吟社例會

忘機吟社三月例會は來る十六日午後一時より長谷川町安東擊雲翁の桃園にて開催すべく當日は各員揮毫の書畫持參は勿論各自雅印を携帶せられたしと

◎安田司事歸朝

米國に出張中なりし鮮銀司事安田弘氏は七日橫濱着便船にて歸朝せりと

◎本宿元善隣校長

既報の如く善隣商業學校長本宿家全氏は同校を辭し大倉男系統の某會社に入る事となりたる由なるが愈十二日夜出發東上す可しと

李太王挽歌　前李王職次官 小宮三保松

鍾域三千歲。李朝五百春。太王持大器。龍種入殿宸。豪氣臨時動。隆名越海振。天資雖拔萃。人事轉傷神。北辭要求急。西請促迫頻。患禍歐涉美。勢似楚於秦。寤寐思長計。是非勉博詢。春花空逸樂。秋月幾酸辛。愛國何爲己。憐民豈護身。達觀斟古史。定策結東鄰。禪讓迎明主。謀猷託藎臣。但將從命數。誰謂失經綸。併合邊疇靜。同和社稷新。恩威加卓氏。榮錫亞皇親。世子令成業。仙姬擬締姻。一朝遭永訣。萬衆恨前因。國葬尤優典。儀班悉搢紳。素車催慟哭。白馬帶哀呻。草木傷遺德。山河仰後塵。孤燈猶此曲。暗淚濕衣巾。

人事消息

▲太田鐵次氏（咸興鐵山常務取締役）八日朝入京朝鮮ホテルへ

八面鋒

◆我朝鮮人中に、時に民族自決主義を誤解し、或は或者の離間策の犧牲となり、輕卒にも、無思慮にも、自ら不安窮乏の慘禍に沈むべき手段たるを解せずして、妄言暴行を敢てし、時に多數聚集して騷動する者あるは、洵に憐むべき事なりと云はざるべからず。殊に或る者の中には、排日思想を有して朝鮮之を濫用する者あり、而して朝鮮良民を欺瞞していふ其資料となさんとする者、亦少からざるが如し、之れ朝鮮人の最も注意せざるべからざる所也。

◆曾て米國が布哇に植民し、布哇人に自治を與ふるが如き態度を裝ひ、布哇の革命を宜して、以て米布合併の素地をなし、遂に凡ゆる術策と、權力とを布哇人の手より奪ひ、一の異族を以て他の異族の國土を掠奪し去りたる例の如き、米國の其方法、其結果に對しては朝鮮人の最も知らざるべからざる所也。

◆民族自決主義に一致せる、日鮮併合が、如何に平和と、安寧と、幸福と、文化とを、朝鮮に齎せしかは、世界の既に悉知する處也。今日に於て何れの點に見るも、朝鮮が內地と何の選ぶ處無く、泰平と、文化と、繁榮との下に、樂き生活を送りつゝあるに徵しても、又た五大强國の民族として、世界を昔時の朝鮮たらざるは、多言を要せざる也。世界何處に此の如き民族自決主義適用の唯一の成功者あらんや。

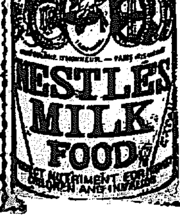
◆若し夫れ今日、朝鮮人中に、苟くも內鮮同化を非とするが如き者あらば、之れ寧ろ民族自決主義の意義に反するの甚だしきものにして、或る目的を以て、離間中傷し、排日を行はんとする者の、傀儡となるを甘んずるもの也、鮮人たるもの、自ら大いに警めざるべからざる也。自ら誤り自ら紊すものは、夫露國の如く、唯自滅に陷るの一途あるのみ。可慎哉。

田尻稻次郎博士序　田邊玄平先生著
最新パン製造法
一部定價 上製 八拾錢 送料六錢
パンが經濟的にして衛生的優良食品たるは何人も疑はざる所。本書は多年海外に在りて專らパン製造法を研究し、歸朝來斯業界の大家として名聲嘖々たる田邊先生が特に本社の爲に執筆せられたるものにて田尻博士及諸大家の甚深なる推稱を受け、出版來パン製造の寶典安價生活の指針として好評湧くが如し。▲製造パンの種類▲生パン各種▲フランスパン▲ロール▲馬鈴薯パン▲牛乳パン▲菓子パン各種等 本書中に說明せる各種パンの製造法は實に百餘種に達し文章平易、說明親切、一讀何人も容易に通じ得べく營業者は勿論、衛生と經濟とを重んずる一般家庭の人々、脚氣胃病患者等には有益缺く可らざる良書也。
東京本郷お茶の水　株式會社 東京割烹講習會　振替口座東京三九四〇番　電話小石川二六四二番

酸素透熱療器
富士醫學士考案の本器（原名オキシデアテルミー）は血液の循環を良好にし生理機能を活躍せしめて自由に空氣中の酸素を人體に攝取せしめ自然療能を盛にして迅速に諸疾病を治癒せしむるに偉大の効力を有す然も其效力の永久不變にして使用法の簡便なるは家庭用並に醫家用として現代治療器の權威たらん
▼定價 家庭用金廿五圓 醫家用金卅五圓 說明書進呈▲
東京市神田區表神保町拾番地（一ツ橋大通り）合資會社 オキシデアテルミー商會　電話神田長三七一七番・振替東京三九五七一

タンスは堅牢にて體裁よく且つ價格の廉なる津村製造に限ります
京城本町四丁目 本町派出所より西へ半丁　津村簞笥店　電話一六七〇番

＝多望なる大新＝
一時極端に悲觀されたる財界も逐日其眞相を公知せらるるに伴ひ人氣頓に復活す諸株の萎靡活氣を添へたる時に之れが反響を觀るべし、就中當所株は證據金引下に因り商內頗る殷盛を極め今後の昂騰刮目に値す。風雲に乘ぜんと欲せば應に此機を逸す可らず、茲に第十七回を組織し大新を買付け巨利を遐せん幸に江湖の賛同を仰ぐ
■申込期間三月十七日迄■加入金一口五拾圓（債券代用不苦）
第十七回 株式（大新）買同氣會
日本信託證券部　大阪市北區堂島濱通一丁目二十四番　電話北長一九〇四番 長九七二番 振大阪一〇五六九
▲會則說明書贈呈▲

ネッスルミルクフード
小兒、虛弱者及老衰者用强壯營養物肺病患者の福音！！醫師諸氏の御推薦を蒙れり
左記申込書御切抜の上御姓名御記入金拾錢郵券（送料包裝費として）御封入被成下候はゞ見本包御送附申上可く候
茲許郵便切手金十錢也封入候間ネッスルミルクフード見本包御送付相成度候
年月日　住所　氏名
橫濱郵便局私函第三〇四號　ネッスル及アングロスヰス煉乳會社行


大正七年七月一日改正現行

◉公會堂地鎭祭

◎壯烈無比なる我軍の奮戰

高橋枝隊戰鬪詳報

出征第十二師團松山參謀長よりバアロフカ附近の戰鬪詳報を留守師團司令部に宛報じ來れり曰く『小倉步兵第十四聯隊長高橋大佐の率ゆる混成枝隊は三日午前六時三十分バアロフカ西方約二粁半突の無名部落より前進を起しバアロフカに占據せる敵に向つて攻擊を開始したるが敵は砲二門並に機關銃を有し兵數千五百を算する優勢にて我兵力に對しては約八倍に相當し居たり我軍は猛烈に前進して第一線が敵前約四五十米突の近距離に接近したる時敵は俄に雨霰を注ぎ異樣なる音響を發して我に向つて攻擊に轉じ我第一線は機關火砲を以て勇敢に抵抗したるも何樣八倍の强敵の事とて一ツ包圍に陷り頗る苦戰したる際に於て我第一線は敵の陣地の中央最高地に向つて突擊を敢行し彼我入亂れて白兵戰を演じ格鬪の後遂に敵の機關銃一門を奪取したるが此勢に吞まれて敵は潰亂に陷り其大部と砲兵はトルバカタイ方向に一部はボズセエアカ方向に退却せり時に午前十一時三十分實に五時間に亘る激戰なりき我軍は時を移さずトルバカタイ方面に退却せる敵に向つて追擊を開始したり此の戰鬪に於ける敵の損害は少くとも五百を下らざるべく戰場に遺棄したる死傷者のみても二百五十を算せり

▼巧妙なラワー戰術　田中枝隊は此戰術に陷る

右につき軍司令部の某將校は語る『敵の兵力が八倍に相當して居るヒに大砲を持つて居るのだから我軍の苦戰の狀況は想察するに餘りあるものがある然し戰鬪の結果は我軍の勝利に歸して機關銃一門を奪取し潰亂に陷つて退却せる

△敵の追擊 に移つた處は痛快である此度の戰鬪詳報を見ても先日のユフタ附近の戰鬪の狀況を見ても思ひ出さるゝのは日露戰爭中我々が上官から幾回もくも注意を與へられた露兵のラワー戰術であつて迂つかりして是に引掛るなと警められたものである、『ラワー戰術』といふのは前面に

△少しの兵 を出して置いて我兵を近距離に引寄せて側面に兩翼を延伸して包圍するのである露兵は此戰術が中々甘い我高橋大佐の第一線がバロフカで四五十米突に接近した時敵か兩翼を延伸し

△包圍した といふのは即ち此のラワー戰術に陷つたのであらう先日のユフタ附近の戰鬪で田中枝隊が全滅したのも此の手であつたと思はるゝ敵の司令官は例のムーヒンに間違ひあるまい』

◎鮮人妄動の眞因

敎徒を欺ました孫秉熙一派窮餘の一策!!!

今回の獨立運動に關し群集中に撒布せられたる國民大會宣言書に對し朝鮮貴族等の言ふ所を綜合すれば左の如し天道敎主孫秉熙は從來各地の敎徒に對し丙辰（大正五年）三月は國權回復の機なりと稱し又同年何月何日は成功の秋なりと說き屢々地方敎徒を欺き右運動費を口實として既に數百萬圓を徵收し自分のみ豪奢を極め今日に至るまで何等顯はる所なきを以て地方敎徒より右の約束履行を迫られ答辭に窮し居たる際今回の國葬に就き地方頭領其他多數の敎徒入京したるを以て該機會に於て一演劇打たざれば自然信徒離散するのみならず又一身の浮沈に關するを以て今回の如き事件を惹起せしめたるものなり。要するに今回の騷擾は主として孫一派の自衞的手段と觀るを至當とし此際若彼等が事を擧げざれば或は一身に危害の及ぶ虞ありたるなるべし

▼總督の弔電

長谷川總督より三月六日午前六時四十分小河平南警務部長宛左記電報到着せり（平壤）

砂川に於て佐藤上等兵以下憲兵補助員が壯烈なる死を遂げたるは本官の誠に感激に堪へざるところなり、貴官は其遺族に對して本官の深甚なる哀悼の意を傳達せられたし

京畿道

開城 六日午後九時三十分約一千名より成る暴民の集團は警戒隊に對し瓦礫を投じ警察署に殺到するの形勢ありたるに依り强壓を加へ同十一時頃解散せしめたり。此騷擾に於て巡査一名、憲兵補助員一名、巡査補二名負傷し暴民一名は退散の際彼等仲間の爲めに踏み倒されて負傷せるが間も無く死亡したり

黃海道

遂安 一時猛烈を極めたる同地の騷擾は六日に至り鎭靜に歸せり

黃州 六日午前十時頃より附近の山上に集合し又同地私立養成學校男生徒約百名は附屬學校生徒約三十名は校內に於て萬歲を唱へ不穩の形勢ありしを以て解散せしめ首謀者取調中

平安南道

平壤 六日市內は平穩なりしも市外大同郡長水院、大平、舶橋、萬景臺、平川、梧柳里の各里等には約六百の集團萬歲を唱へつゝ運動を開始せしが警戒嚴重の爲め暴動に至らずして止みたり

江西 六日江西、咸從地方に亘り約一千名の群集運動を開始せしが大事に至らずして鎭壓せり

順川 五日午後約一千の暴民各自舊韓國旗を携へ獨立萬歲を唱へ各戶に强制して舊韓國旗を揭揚せしめ憲兵駐在所を襲擊せんとするを以て警戒を嚴にせり

平原 六日午後四時順安に群集約五百名警察署に押し寄せたるが右の中十七名を逮捕せり

龍岡 六日正午約三百名の暴民溫井巡査駐在所を襲ひ窓硝子等を破壞し午後二時頃附近の山上に引上げたり

德川 六日正午德川に約三百名集合せしが漸次其數を增加し午後一時半に至り獨立萬歲を唱へ運動を開始せしを以て首謀者五十名を檢擧し一應鎭靜に歸せり

平安北道

孟山 六日孟山に天道敎徒約三十名集合し宣言書を配布し萬歲を唱へ運動を開始せしを以て警戒を加へたり

鐵山 五日午後一時頃約三千名の大集團は東寺館に於て示威運動を開始せしを以て宣川警察署より應援隊を急派し同四時半に至り鎭壓するを得たるが首謀者二十名を檢擧せり

宣川 五日午後二時頃約百五十名の暴民古軍營附近に運動を開始せしを以て首謀者五名を檢擧し鎭壓せしめたり

咸鏡南道

咸興 六日午後三時頃約百名の集團は一旒の舊韓國旗を打振りつゝ萬歲を唱へ運動を開始したるを以て首謀者一名を逮捕し解散せしめたるが尙邑外部落に於ても數箇所に運動行はれたり同郡地境里に於ては六日午後三時頃巡査駐在所前に約二百五十名群集せしも解散せしめたり同郡五老里に於ても六日午後九時憲兵駐在所附近に約四百名集合せしを以て首謀者三名を檢束したり

忠淸南道

扶餘 六日午前十時林川邑內に於て天道敎徒七名は獨立萬歲を唱へ林川憲兵駐在所に押し寄け京城は既に獨立せしを以て我等にも獨立の權利を與へられたしと申出でたるを以て說諭を加へたるも應ぜず扶餘分隊に於て彼等を引致取調中

▼健氣な上等兵の妻

沈著なる動き振り　鮮女に化けて虎口を脫す

平南江西郡沙川の騷擾は既報の如くなるが其後更に聞く處によれば暴徒が沙川憲兵駐在所を襲はんとするや佐藤上等兵の妻うめ子（二九）は女ながらも甲斐々々しく草鞋を出して武裝に調する一切の準備を整へ此際留守宅の事は自分が死を以て守るから意を安んじて働いて呉れよと主人を勵まし自分は短銃を取り出し內から窓によつて幾百千とも數知れぬ暴徒と對した暴徒は鎌やら棍棒やらを携へて駐在所を包圍し瓦礫叉霰の如く降り來るを物ともせず襲ひ來る暴徒に短銃を向けたが忽ち銃の彈丸盡き果てたので妻女は傍に在りし彈藥箱を奪はれては一大事と箱に入れ之に鍵をおろし又放火の際の用意にと毛布に水をぬらして之に包み自分は逸早く鮮服に着代へ裏口より飛び出して群衆の內に入り込みたれば暴徒は之を見て一齊に亂打したれど氣丈夫な妻女は其間をくぐりて衆人の間に隱れたれば鮮人も上等兵の妻女とは氣附かず矢張り鮮婦人ならんと思ひ居たるに乘じ巧に虎口を逃れて楚山に避難した斯くて鮮人は駐在所に闖入し件の彈藥箱を奪ひ取りたるも鍵あるため開かれず其儘無事に應援隊のために奪還せられた實に女として申分のない沈着な見事な働き振りであると誰れ一人として同女の天晴なる行動に感心せぬものはない斯くて平壤より應援隊も來たので妻女も沙川に歸り夫や補助員の屍體を收容し居たので並居る應援隊の人々も同女の一絲亂れざる處置振りに感じ入つて居つたさうだ

◎龍山から出た名譽の戰死者

玉井一等卒の實家を訪ふ

去月廿六日ユタカ（アレキセーフスク北方五里）附近に於て敵に奮戰の末田中枝隊長以下二百の戰友と共に名譽の戰死を遂げた野戰步兵第七十二聯隊第十一中隊第三小隊一等卒玉井重平（二三）氏の遺族を龍山元町二丁目に訪へば佛前には既に

✕寫眞が飾 られ嚴父萬藏（五〇）嚴兄運平氏は世間の人々と共に燒香中であつた嚴父萬藏氏は白髮の頭を撫でながら『倅が御國の爲めに名譽の戰死を遂げて呉れましたのでお蔭で一家の者が光りますと强い事を言へども老の身の流石に堪へ難い風情で

✕横を向く 實兄運平氏は『只今父の申ます通り弟の戰死して呉れた事は全く御國の爲ですから家內一同喜んで居ります弟は未だ獨身者で私の口から言ふのは妙ですが至つて無口で實直でした柔道は初段で喧嘩の場合に役に立つからと云つて常に稽古をして居まつた非常な

✕親兄弟思 ひでしたので手紙は絶えず寄せて居ましたが其中に近々凱旋する四月頃には歸宅が出來ると云つて來ましたので一同喜んで居ますと先月十九日ニコリスク發廿六日著の手紙には『前略只今（十九日夜）此手紙を書いて居る處へ突然廿日朝七時に出發前進せよと云ふ命令到着致し候明朝は此處より

✕約五百里 前方に前進する事と相成候今度こそは確かやつて土産物を澤山持ち歸る可く候先づは取急ぎ候まゝ是れにて失禮皆々樣へ愈御身御大切に』と書いてありました思へば是が最後の手紙でありましたが其手紙の末に御下賜の煙草と菓子が取つてあるから凱旋の際持つて歸るとして居りました』

▼路面から八尺程低い

苦心した設計　井上主事談

今月末から基礎工事に着手し五月中に定礎式を擧げそれから建築に取り掛る豫定です。設計、建築共に苦心を要するのは敷地が路面から八尺も低く且つ向ひ合ひに朝鮮ホテルのやうな高壯な建物がありますから外觀の平衡を保つ上から見ても可成りに高い建物とする必要があります。それで此八尺の低地を如何に工夫するかゞ問題ですが最初の設計では地下室を設けることになつて居ましたがそれでは低い上に低くするやうなことになりますから今度は地下とする部分を階下室にすることに變改しました。之で幾分周圍の建物に對し平衡を保ち且つ建築美を發揮し得るかと思ひます

◎公會堂建築地鎭祭

八日敷地に於て嚴肅に執行

京城府公會堂地鎭祭は八日午前十時四十分より朝鮮ホテル前舊步兵隊跡の敷地にて擧行されたり敷地內東側には七五三を張り淨砂を撒き清々しく眞榊を敷き、西には祭壇を設け、祭壇の上には酒肴を供へ、神饌を奠じあり、本府諸局長、大村京城府尹、松本土木建築協會長以下同協會員其他十名參列著席するや神官の修祓式に次いで谷村宮司の祭文朗讀、玉串奉獻あり次いで松本會長、釘本副會頭以下順次玉串を奉獻し同十一時式を閉ぢそれより同式場に於て參列員一同祝盃を擧げたり

◎戰死者は全部金鵄勳章

西伯利亞出征軍の第一戰なるクラエフスキー附近戰鬪に於ける戰死者に對する行賞は六日小倉留守師團司令部に通報ありたるが該戰鬪の戰死者は全部金鵄勳章を授與し六級七級の兩種にて勳七八兩種の旭日桐葉章もあり其人員は隊長山田友雄氏以下五十一名なりと

◎佛國首相へ金ペン

女學生から贈る

巴里ジュルスリー女學校生徒は首相クレマンソー氏を訪問し金ペンを贈り氏が此ペンを用ひて最後の講和條約に署名せんことを求めたるにクレマンソー氏は滿腔の熱誠を以て之を感謝したる後女學生に接吻したり（巴里電報）

◎第三師團の初年兵

某地へ送られん

留守第三師團管下各隊に於ける初年兵の第一期檢閲は本月末を以て終了すべきが、聞く所に依れば第二期敎育は幹部將校の不足其他の事情により留守部隊に於ては多大の困難あるを以て第一期檢閲終了後即ち四月中旬頃より順次之れを〇〇〇に送り同地に於て敎育せんとするの計畫あり多分實施せらるべく是れが實施の曉に於ては同地に在る歸休兵（昨年十一月廿一日除隊さる可き者）を初年兵と入れ換に〇〇へ〇〇せしむることなる可しと

◎地方からの東京見物

今年は非常に多い

櫻には早いが昨今の鐵道は非常な利用して東京見物と洒落る地方人は頃日來俄に激增し昨年に比べると驚く程早い樣に見ゆるが上野、日比谷公園等では旅館の旅を先頭に綱紐つて歩いてゐる觀光團體がザラに見受ける其前後の良い事は昨年等の比ではない之と云ふのも米價暴騰のお蔭で地方が裕福であるからだ試みに上野驛に就て調べると例年觀光團の一番盛んと云はれ其の降車人員は平均六七千は超さない事に定つて居る一月の月にすら既に廿日頃より降車人員一萬を突破する樣になり二月に入つてからは一萬を下つた事は一日もなく其の降車人員が一日に二萬百八十九人、二日には一萬六千三十八人、三日には一萬二千四百十六人、四日には一萬四千七百八十七人を示して居る之を例年に比べると確に半月は早く又三割方の增加である上今後益々激增の形勢を示して居る（東京）

◎米船の沈沒

去月十七日午後三時全北扶安郡幸內面蝟島附近にて米二百二十石を積載し群山港口にて轉覆し乘組員三人は救助され約二千五百圓餘の損害を受けしが續いて同二十三日午後六時忠淸南道瑞川郡二北面馬山里西島附近にて蓮盛丸と衝突沈沒したる享所有二百石積帆船は仁川港口兒島附近にて沈沒したり貨物は米一萬六千八百五十七斤價格三千三百圓にして乘組員六人は救助せられたり

社寺と敎會

◇妙心寺（長沙洞） 午前十時より蔭涼會例會瑞巖老師の碧巖集第三則の提唱ありて參禪辨道もある由

◇曹洞宗別院（若草町） 午前十時より碧巖會例會瑞巖東及び超心の提唱あり猶ほ午後二時より宿舍を開き大東、寺波、安藤諸先生のお話ある由

◇日本基督敎會（長谷川町） 午前九時日曜學校午前十時禮拜說敎『新時代に於ける敎會の使命』丹羽清次郞君午後七時半傳道說敎『週末定』某氏

◇京城組合敎會（南米倉町） 午前十時說敎『信仰の果遂』古木牧師午後七時半說敎『無神論者と靈魂の問題』同師

◇メソヂスト敎會（旭町二丁目） 午前十時半『顯かす恩』中村牧師午後七時半『音樂禮拜』北勳奇女子部

◇日本へ行く支那の名優

支那第一の人氣俳優梅蘭芳の日本行きは昨年來屢々傳へられた處なるが今回大倉男及び滿鐵理事龍居氏父子の斡旋にて愈々本月末出發四月の帝國劇場に於て開演することに決定せり同優は元來俳優の家に產れ幼少の頃より其技術を認められつゝありしが今や廿八歲の働き盛りに達し其美貌と艶麗なる妙技は四百餘州を風靡しつゝあり寫眞（上）は最近の梅蘭芳の素顏にして（下）は日本に於て最初に演ずべき天女散花なり

◎新に增設の無線電信局

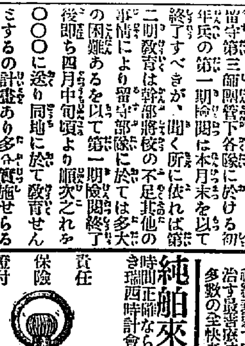
七年度豫算に其の經費を得たるを以て設置場所經營中の所謂信局を……信局の必要は焦眉の急なるを以て豫定通り來年度一杯にて竣成せし……

安定翼の破損

……材料惡き爲のか又は操縱に慣れぬ爲かは不明なるも山內中尉は第……

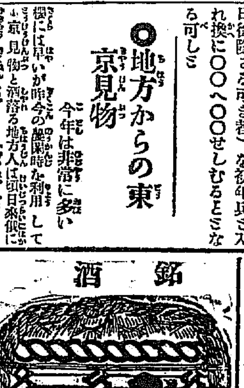
全羅南北道及慶尙南北道沿岸は警戒を要すべしと（八日午前十時測候所）

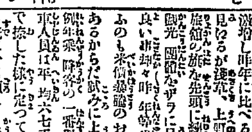
地方 八九　曇り



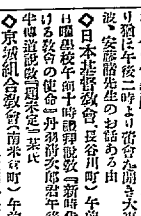
てんかん病と子供のヒキツケ腦
神經衰弱で困る方切手三錢送れ永年の病も自宅で人知れずヒミツに治す最新療法の詳細を無代で知らす速に申込みあれ多數の全快者あり
名古屋中區南小川町 救生舘

純舶來 實用 懷中時計 輸入廉價 景品付 責任販賣
時間正確ならざれば時計の効無し、目下大評判の本時計は斯界に名高き瑞西時計會社特製ニッケル側 常時流行片硝子圖の如き文字板十七形器械は最も完全なる本價へ二枚車向本アンクル 堅牢なれば至極止りの憂なし故に進遲時間一般を重んずる諸士に最適當なり 十ヶ年保證 御使用者に頒ん爲 17形品 料金 五圓九十錢 代引 送料二十錢 包皮四拾錢 商景品に時計鎖 磁石 本文
責任 保險 證付
他品交換又送金す 大阪南區高津線孖舟橋停留前東（四七五六） 振替大阪 常盤號 商時計部
に相違の時は無割引

銘酒

金釜 特約 三巴 電話 三七
銀釜 京城支店 八五
菊正宗
楠正宗 店 〇三番


剃味が最善です 歐米品より優秀なる
日本製 一號 一個 金一圓三十錢 送料四十錢
二號 一個 金一圓二十錢 送料四十錢
☆印 西洋カミソリ
販賣 東京銀座尾張町 福田商店 電話京橋一六五一番 振替東京一〇〇〇七番

かぜつゞね
面白い程きく 荒川のカギヤピリン
彼是と手遲せぬ樣直服用あれ 現今の流行かぜには頗る妙
丸劑と散劑とあり◇小兒には小兒用の小兒用カギヤピリンあり◇にせもの注意
定價 十錢 廿錢 卅錢 五十錢 壹圓
本舖 名古屋京町 藥品問屋 荒川長太郞
全國到る處の藥店に販賣す 無き所は無料郵送す


純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから……卸値がお安いです
京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二番 振替七三七番

京城府明治町二丁目（本町江戶川横より入る）電話三七八番
內科 小兒科 チアテルミー科 入院 隨意 中島醫院 院主 中島貞信

…所は南局長下…に決定…出來電報は戰時中より引繼き商取引の旺盛を極むると共に輻輳遲延を免れざる状態に在るを以て遞信當局は强力無線局設置計畫を爲し…を區別し其通信方式は持續電波電弧式を採用し鐵柱は二百米突の高さを有せしめ電力五百基ワットの强力を用ふる事となりたりと當局同無線電…つゝあれば或は豫定より早く使用の事となるべしと云はる

飛行機墜落の原因

…機は直ちに墜落すべきものなりし同機は翼は横須賀海軍工廠造兵部に於て修繕したるものにして材料は悉く新しきものなれば或は修…かるべく

警報

黄海中部に發生したる氣壓は七五六粍を示せるが漸次東に進行しつゝあり風强かるべく

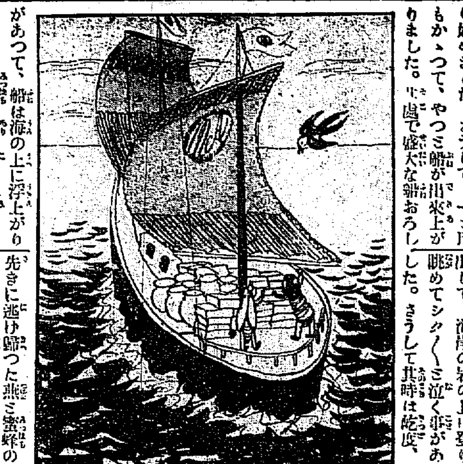
…人二名…二等(六十名)新宮勇、小林源六、鈴木文次郎、細川雄市、山縣信一、同しず、諸川惣吉郎、水野滋、中村清一郎、近藤甲一郎…三等…有馬四郎、野崎君子、深田搭模、市原惠太郎、吉村能青、岩瀨總三郎、笠井清平、楊安長、山本興一、金井賢次郎、諏訪米吉

おとぎばなし

矢の如うに走る船　それは蜜蜂と蟻の貿易船……

八島柳堂

夏の或日、虫類の中でも一番の働き手と云はれた、蜜蜂と蟻がひよつくり出合つて、『何か好い儲ける事はないだらうか』と相談して居ますと其處へ一羽の燕がやつて來て、『それは、外國と貿易をなさい』と敎へましたので蜜蜂と蟻は『是れは、何うも有難う、それでは外國と貿易を始める事としませう、其の節は何うぞ宜敷く……』と何度も叩頭をして謝つて行きました。蜜蜂と蟻は歸つて來て、さて貿易をするには貿易船が要るが何で造らうかと相談の末、木の葉を集めて船を造らうと云ふ事になりました。そこで蜜蜂と蟻は仲間の中で大工の出來さうなものを大勢選つて來て大きな木の葉船を造り始めました。さうして、一ヶ月もかゝつて、やつと船が出來上がりました。其處で盛大な船おろしがあつて、船は海の上に浮上がりました。蜜蜂と蟻は是れを見て、さも嬉しさうに、ニコ〳〵して居ましたが、ふと貿易する品物の事に氣がついて、『おい、蜜蜂君、船が出來たが品物は何にするのだい』と蟻が云ふと、蜜蜂は、『さうだなあ、お互ひに稼ぎ溜めた物では何うだらう』『成程、それは好い處へ氣がついた、それでは早速船積をしようではないか。』『よからう』と相談が出來上ると蜜蜂は稼ぎ溜めた蜜を蟻は種々の食料品を出し合つて、船に積み込み錨を上げて港を漕ぎ出さうとすると其處へ燕がやつて來て、『やあ、是れは立派、立派、だがお前さん達、海の道が分るまい、私は是れから外國へ歸る者だ、丁度好い幸ひだから私が水先案内をして上げませう』其處で燕は船長室に入つて、船の進んで行く航路を敎へながら便乘する事となりました。船は港を放れて二つの大きな帆を卷上げると、蜜や食料品を乘せた木の葉船は帆に一パイ風を孕んで、波を蹴つて沖へ沖へと進んで行く速さと云つたら宛然矢の樣です、さうして幾日かを過ぎて、船の餘程進んだ頃、蜜蜂と蟻は燕を招いて大層御馳走をして種々の話をしてゐると、俄に天が暗くなつて、大風が吹き始めました、暫時すると海は大荒になつて、木の葉の船は遂う〳〵破れて、澤山な貿易品を積んだ儘沈沒し始めました。燕と蜜蜂は羽のあるのを幸ひに船が沈沒すると、『命あつての物種』と云つて逃け出しましたが羽の無い蟻は破れた葉に掴つて流れてゐる内に或る島に漂着、やつと一命を助かりました。それ以來、蟻も蜜蜂も、前に増して働く樣になりましたが蟻は時々木の葉船の沈沒した事を思ひ出して、海岸の岩の上に登り沖を眺めてシク〳〵と泣く事がありました。さうして其時は乾度、一番先きに逃げ歸つた燕と蜜蜂の友情のない事を深く嘆きました。



藥になる動物

◆あはび　貝殼は燒いて胡麻油に溶き瘡に外用すると効がある

◆からす　肉及び血は中風に効がある、卵は中風を豫防する

◆うし　角を削りて粉末とし服用すれば感冒熱となり、膽汁を皮膚に塗ればヒゞ、アカギレを治する、膽嚢を乾し貯ふれば熊の膽の代用となり、健胃整腸に効がある

◆かいつぶり　肉を煎用或は燒きて用ふれば痔疾小便に効がある

◆こひ　味噌汁にて食すれば、婦人の乳の分泌を多くす

◆さはがに　搗つぶして、漆かぶれに塗れば治する

◆しゞみ　味噌汁にて食すれば黄疸を治する

◆すゞき　この魚の頭は良質の肝油の原料となる

◆せみ　俗に『蝉のぬけがら』と稱するものを煎じ、胡麻油にて用ふれば耳病に効がある

◆ほたる　乾し貯へ粉末となし、傷に用ふれば頭瘡及び頭癬を治する(博物世界)

移入貨物激增　貨車不廻…仁川…

◆岸壁倉庫は僞に一杯◆　港陸施設の工成つて仁川埠頭の殷盛は近時著しい景氣を呈し來つた試みに閘船渠内の船舶をみると常に七八隻を數へ岸壁に繋留せられて殷々轟々のウインチの音に耳を聾する有樣である、從て揚荷量の增大した事は夥しい數量で埠頭三棟の倉庫は既に充滿殆んど取扱貨物の捌き方に困惑して居るのである近時移出貨物は入港船舶の夥多なるに比して幾分品薄の感なきに非ずであるが斯は米穀類の移出を主とする仁川にありては内地相場の關係上時に移出不引合を現はす事があり之れが爲移出貨物は

◆幾分品薄　を生じて居るのである之に反して移入貨物の增加は來る船入る船滿載の狀態であるから埠頭移入貨物の山を爲して居る而して此主なる品目を擧ぐれば粟、胡麻、麻布、セメント等で其等は仁川を經由して鮮内各地へ供給さるゝものである、然るに昨今では沿線到着貨物捗々しからざる爲着車數少く最近三十輛平均の貨車配給があるが其多くは穀物積み取りに充當し普通移入貨物の發送は僅かに一日四五輛に過ぎざるの狀態である、之が爲め

◆埠頭荷閊　を生じて現存三倉庫は悉く充滿、專ら移出貨物の置場に充當する一棟の倉庫さへ既に之等移入貨物が溢れて居る有樣である、普通倉庫の收容量は二十七八噸を限度とするものであるが昨今は之等荷閊への爲め野積みするよりも悉く倉庫に押し詰め今は約四千噸以上の揚陸貨物が這入つて居る、之等の不便を一掃する爲めには何を措いても今少しく貨車の配給を俟たねばならぬのは瞭らかな事情である。

在來棉と繊維　平安南道の棉花

平安南道内各郡に於ける棉作在來棉の繊維調査を木浦試驗場に於て調査したるもの左の如し

郡名	長さ(粍)	强さ(瓦)	歩合
成川	二三、八九	九、四七	二七、三
孟山	二六、〇	八、五三	二六、二
平原南串	二五、六六	九、九二	二九、二
同郡上里	二五、四七	八、五九	二九、二
寧遠	二四、四六	八、八一	二六、二
順川	二四、六六	八、二四	二七、七
江西	二六、四四	九、九八	二六、三
大同	二六、六	九、三六	二六、四
龍岡	二六、六八	八、〇三	二六、〇
安州(安州郡安州面)	二四、二	九、四八一	二六、九
中和(中和郡上道面)	二五、九六	九、三〇	二六、九
价川	二五、二	九、〇五	二六、二
江東	二五、二	九、〇二	二九、八
平均	二五、三二	九、一三八	二六、四

右に依りて見るに繊維の長さは成川郡の二三、八九より最長大同郡の二六、六一間にあつて各郡の平均は二五、三二とす繊維の强さは何れも大にして龍岡郡の八、〇九三より江西郡の九、九八に及び平均九、一三八なり、繰綿歩合は江東郡の二九、八パーセント最も低く平均二八、四パーセントとす而して此平均歩合を木浦地方に於ける在來棉の夫に比するに少くも二乃至三パーセント方高きを見る次に繊維の强さは中和郡最も佳良にして群を抜き孟山、安州の二郡最も劣れり其他の諸郡は何れも概して佳良にして其間殆ど優劣あるを見ず各郡を通じて蔓屑等の混入極めて少きも蟲害に依る少許の着色綿を混じ孟山安州の二郡に在りては稍や著し繊維の剛柔は何れも朝鮮在來棉普通の特徴を示し其間等級を認め難し(平壤)

吉會線測量　新田技師一行

多年の問題たる吉會鐵道の敷設につき其測量隊は吉會兩地より歩を進むることゝなり會寧方面よりは朝鮮鐵道管理局新田技師指揮の下に支那交通部より派遣せらるゝ支那人三十名の一行近く測量に開始の旨吉林總領事館に内報ありしといふ新田技師は滿鐵線鐵道の開通と共に現任の勅任技師に昇進し滿鐵にありては有數なる斯界の先覺者たり同技師が今次吉會間測量の衝にあたりたるは無論日支兩政府商議の結果にして朝鮮との聯絡便なるに原因する處あるがためなるべし(間島)

航路問題請願　朝鮮阪神横濱間

朝鮮西海岸對内地横濱及び阪神間定期航路開設に就ては鎭南浦、仁川商業會議所會頭東上種々打合はせをなす處あり大體に於て或る程度に進捗せるを以て愈形式上議會に請願書を提出する事に決し平壤商業會議所の聯署調印を了すべく仁川商業會議所岡本書記長は請願書を携へ鎭南浦、平壤、木浦の三會議所と打合はせの爲出張せるが遲くとも十日過ぎ迄に請願提出の運びに至るべしと(仁川)

江華島商取引

◆移輸入株式會社新設◆　從來江華島の商品仕入は京仁地方より之を仰ぎゐたるが今回江華島の有志五名發起して資本金十萬圓を以て直移輸入をなす江華商業株式會社を新設する事とし本月中に其筋へ認可申請を爲すべしと(江華)

消防組新設(江華)

江華に於ては從來消防組としての組織なく火災の時は各個人にて消防に從事し來りたるが今般愈消防組設立せられ學校組合管理者吉井九郎氏消防組頭として警務部長より辭令あり其他副組頭二名並に消防手三十五名は憲兵署長より辭令を受け茲に消防組の組織を見るに至り喞筒二臺も備付けたり

穀物在庫數(仁川)

二月末現在仁川在庫穀類數量は、玄米五斗入五萬三千七百六十叺、白米五斗入十一萬八千八百六十叺、四斗入二百八十一叺、四斗入三千百十九叺、三斗入三百五十三叺、大豆五斗入三百五十三叺、四斗入一千五叺、小豆二百七十六叺、小麥五斗入一千七百二十九叺、四斗入二萬六千九百八十六叺、綠豆二百十三叺、大麥四十九叺、俵入二百九十五俵、粟一萬二百八十八俵、粉米三十七叺一千三百九十五俵、籾米七十三叺、糯米八百七十八叺等なり

近頃の窓飾

近來の飾窓の傾向

近來窓飾の裝飾が非常に進歩して來たが而し窓飾の意義を沒却した裝飾をやる店が殖えて來る傾向を示して居る甚だしいのになると其意義を沒却して宛然見せ物の看板に見るが如き俗惡な背景を用ひる商店があるのを見る、飾ると云ふことは第二の問題で商品をして公衆に快感を與へつゝ注目せしめ遂に購買心を惹起させて其を決行させることが第一の目的である夫には如何にしても商品本位でなければならぬ、之がな

飾窓の根本問題

ではなからうかと思ふ夫に就て或店に依ては商品其物丈けでは頗る飾り惡いものがある此場合に於て補助の目的を以て裝飾するのである、從つて商品が主位となつて飾は從となるのである、然るに現今の飾窓を見ると皆

主從地位を轉倒

して居るものが大部を占めてゐる樣である、それが爲め飾窓の前を通過した人の頭に殘る物は何であるかと云ふに恐らくは商品其物よりも强烈なる色彩を用ひた背景であると、それが爲め其店で何を賣して居るかを知らぬものが多い

これは背景に餘り

力を用ひた結果單に店頭を綺麗に飾るのみで商品を沒却した爲めである、斯の如き裝飾は飾窓として價値のないものであると思ふ。然らば飾窓の目的を表すには如何にせば完全に飾窓の目的を表し得るかと云ふにそれは

◇どうしても商店本位◇

に飾らなければならぬ、又飾るにしても漫然飾るのではなく如何にせば快感を與へ注目を惹き購買心を起さするかと云ふ事を併せて考へる必要がある、所が今日多くの商店が背景に重きを置いて各商店が競爭的に美しい裝飾をしようと云ふ結果上述の如き飾窓の目的を轉倒した飾方をする樣になつた

更に注意すべきは

近來の飾窓は商品と背景其他の裝飾が何等關係的のものでなくして商品は商品背景は背景と各自獨立した裝飾が多い樣である故に立派な背景を用ひた飾窓内の商品を取り去つた後は全然別種の商品と入換て差支へないものが多くなつて來たかの傾きがある

差支のない飾窓

から商品其物の特長を發揮すべき樣飾窓の背景に十分の注意を拂はれたきものである

組合豫算(群山)

群山學校組合大正八年度歳入出豫算案附議に付いては既報せる如く組合會議員總會を開き又は委員會に付し審議中なりしが二月二十八日組合會議に付議の結果原案に多少の修正を加へ豫算の議了決定を見たるに何等の規模…物價騰貴の影響…事務所費の增加したる爲め歳入出共に前年度に比し五千八百七十圓の增加を來したるに過ぎず…に依りたり即ち決定豫算左の如し(歳入經常部)組合費一萬八千〇四十五圓使用料及手數料四千二百八十九圓財産より生ずる收入一千五百五十五圓雜收入四十九圓計金二萬三千八百五十九圓(歳入臨時部)繰越金一千二百十九圓補助金七千三百四十圓寄附金二十圓過年度收入九圓計金八千五百六十八圓、歳入合計金三萬二千四百二十七圓(歳出經常部)事務所費一千六百八十二圓會議費二百二十一圓小學校費一萬七千零九圓…三百十一圓基本財産造成費百七十三圓財産管理費三百四十…十一圓雜支出百六十六圓豫備費七百五十五圓計金二萬六千…(歳出臨時部)臨時手當費四千七百八十八圓小學校營繕費四百四十一圓組合債一千百三十六圓計金六千…歳出合計金三萬二千四百二十七圓

春　仁川

春雨濛々梢を霑めて春色一段の趣あり淸總に木の萠ぐみて蛇の目の後姿を…春の氣分に浸らるゝ△春雨に濡る、決こそ幽情深き佳人の想ひに耽へんかな△庭の石燈籠に濡れて芝生の中に…△此の一間に…雨の降る…△春は愈々來た、瞬く間に天下に横行すべき…

▷著作原稿懸賞募集◁

原稿種類
一　朝鮮風俗に關するもの
二　朝鮮歴史に關するもの
三　朝鮮行政法其他朝鮮特殊の法律に關するもの
四　朝鮮產業に關するもの
五　朝鮮に關する各種出版物
(原稿は内鮮人向を問はず)

賞金　(壹等)壹百圓(貳等)七拾圓(三等)五十圓
選外の分と雖も出版に適するものに對しては二十圓以上四十圓迄の謝禮金を呈す

審査　京城日報社及各專門大家に委囑す

〆切期限　大正八年九月三十日

應募規定
(一)原稿は五號四十字詰十五行二百頁以上五百頁迄とし振假名を要するものは振假名付き寫眞、繪畫等の要するものは共に之を添付せらるゝ事
(二)當選及佳作原稿の版權は當社に移る者とし當選外の者と雖も原稿は一切返戻せず
(三)當選の原稿はウツボヤ書店にて出版發行し京城日報代理部にて發賣するものとす
(四)出版物の體裁及價格等はウツボヤ書店及京城日報代理部に於て決定す
(五)當選發表は京城日報紙上
(六)原稿發送は京城日報代理部宛書留郵便にて送られたし
(七)發行期日は發行者の通知を以て
(八)原稿は發表と同時に…
(九)賞金は…
(十)鮮人の著作物は…
以上の規定に反せる原稿は審査に附せざる事あるべし

京城太平通　京城日報社代理部
京城本町　ウツボヤ書店出版部

商況

東京現株中値(七日中値)

東拓	七九、〇〇
同新	一七、七五
朝鮮銀行	一四八、〇〇
同新	一二四、五〇
南滿鐵道	七五、五〇
同第一新	四九、〇〇
同第二新	一一七、〇〇
京城電氣	二二四、五〇
南滿製糖	一一八、五〇
朝鮮瓦斯	一四九、五〇
同新	一九九、五〇
朝鮮郵船	一九四、〇〇
[illegible]	九三、〇〇
[illegible]	一二七、〇〇
[illegible]	一三五、〇〇
[illegible]	二二三、〇〇
[illegible]	二二二、五〇
横濱取引	一〇七、五〇
[illegible]	五一、一五
[illegible]	九二、〇〇

東京株式特電　東京期米前電　大阪株式特電　大阪三品特電　大阪期米特電　神戸期米特電

大阪株式特電(七日前場)　當限 三四、九六　中限 三三、九九　先限 三二、九九

大阪三品特電　四二、〇〇

大阪期米特電　三二、九〇〇

神戸期米特電(七日後場)　三二、九九　三一、八　三一、六五　(八日前場)　三二、二〇　三二、五〇　三二、二〇

下關期米特電

安値　三三、八三　三二、八六

雜報

● 正米無見當　● 及持米筋の心膽を寒からしむ思惑者　● 唯一の恃みとして今後の反動を… ● 急變仕入關係に一大… ● 正米は此定期に添ひ… ● 白米下押す　● 多少氣走り的手放き四十圓一三安十錢小賣値　● 板硝子强調　● 磨き物　● 毛皮類低落　方の暴落約十割

下關相場

● 一齊低落

南大門廻穀

市場雜觀

買方の心膽を寒からしむ公定ヤロ〳〵に…

仁川正米　仁川期米

八日前場(更に暴落)

先二十四圓七十錢と百一丁大下放の寄付六十錢に…返り…

釜山正米市場

一般見送り　三十四圓五十錢暴落三等神力…

生魚市場

● 攻め殺す時期　● 追證追證　● 獨り定期の賣叩　● 正米は其割暴落

一圓九十錢と叩き三十…
圓〇五錢と返三十三…
丁放れに寄付投物　付百一丁の大…
續出
大阪寄安移り
卅二圓五十一錢

仁川米豆取引所　八日の五月限

北濱だより

仁川米豆取引所仲買人　三巴仲買店　仁川海岸町三丁目　電話一二二番

仁川米豆取引所仲買人　利仲買店　電話一五八番　一五九番

仁川米豆取引所仲買人　廣瀬商店

六番角力 毛谷村六助

百六十五 席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

木村又蔵は暫く考へたが 又『宜し恰當幸だ、敵が二人であるから朋輩二人に此鎧を剥いで手土産に持つて行つてやらう』こ二人の死骸を傍の叢際へ指摺つて參りまして、手早く一人の上帯を解き、悉皆剥ぎ取つてしまひました、今一人の著て居る鎧も同じく脱がせまして二領の鎧を上帯にて繋かり括り付け引擔ぎ、其儘遙か彼方の陣所を指して駈け出した、近寄つて見るこ、小高き處に翩翻こ翻へる旗の手は瓜の定紋を染抜いたる旗印でございます 又『偖はあれこそ信長公の御本陣ならん、定めしあの中に長濱の城主木下殿も居らるゝであらう』こ亂軍の中を彼方此方を駈け抜けながら近寄つて參りますこ、真先の方に翻るは五三の桐の旗、千成瓢の馬印、偖こそ木下殿は此方かこ猶も近寄つて參りますこ、前備の者は之を見て驚いた ○『何だあの武者は、こんでもない奴が乘り込んで來やアがつた』こ皆々様子を見て居る内に 又『アイヤ、其處にお在ある方々に物申さん、此處は木下藤吉郎様の御陣所こ思はれますが、加藤様は何方にお在なさいますや、何卒お目通りを願ひ度うござる ○『何だこ、加藤殿に會たい、全體貴様は何者だ 又『私は虎之助様の家來でございます ○『妙な身装をして居る奴、全體何を被て居るのだ 又『お前さん方は見て判らぬか、鎧を著て居るのだ、そんなこごは何うでも宜いから加藤様は何處にお在なさる』こ云つて居るこ『何だ加藤々々こ云つて居るのは』こ雜兵體の者が二人ばかり其處へ飛んで參りました『貴様は何者だ、加藤様こ仰被るのは此方の主人であるぞ 又『ヤア是は誰かこ思つたら大九郎、珍らしや井上 『何だ貴様は何者だ 又『忘れたか、去年長濱の城下外れの松原に於て貴様こ兄弟の約束をした木村又藏である』 驚いたのは井上大九郎、大『オー然うであつたか、然し何こいふ扮裝をして居るのだ 又『然れば俺も漸う今日長濱の城内へ參つた處、最早御主君には御出馬なすつた其の後、鎧を著ようにも鎧は無し、漸うありたけの錢を手附に置いて是れだけの身裝をいたして來たのだ 大『妙な姿だな、然し大府立派な鎧を擔ひで居るではないか 又『然れば此處へ來る途中立派な馬武者を二人絞殺して鎧を剝いで持つて來たのだ 大『フーム酷い事をいたしたな、然て貴様の母は何うした 又『母は此程死去いたしたので、それで宅を片付けて漸う參つたのだ、就ては此を母の亡くなつた中陰の志しこして茶の代りに持つて來たのだ』酷いここを云ふ奴もあるもので、彼の法事に他人を殺して鎧を剥ぎ取つて茶の代りに持つて來るもないものです 又『貴様の朋輩は何ごとか云つな 大『此處に居る飯田覺兵衛だ 又『それでは是は鎧も兜も悉く脱がせて來たのだから、随分何方も大形に出來て居る』二人で著てくれ、又藏の寸志だ、納めて置け 大『フーム、何うだ覺兵衛、俺が發て話しをした、此の男が其の木村又藏だ 覺『成程、随分暢氣な奴もあるものだ 大『然し折角の志だ貰つて置かう、何分かゝる亂軍になつて俺も遂に御主君を見失つて搦なく、此の陣中へ歸つて來たのだが、然し貴様も其の樣な身裝をして居ては第一敵に侮られるから寧そ此の鎧を著たら何うだ 又『イヤ〜まア兎も角井上、それは納めて置いてくれ、俺は是から敵中へ驅け入つて、もう些こ上等の鎧を分捕て來るんだ、然し何方が敵で何方が味方だ 大『對岸の上手に陣取つて居るのが淺井家の大軍で、河下で今合戰をしてゐるのは徳川家こ朝倉の兩勢だ 又『ウム、さうか、それでは一番淺井家へ斬つて這らう』こ其儘二人に別れを告げ、木下の陣中を飛び出した。

○見得張る習慣

だん〜形式の皮を脱ぐ

『娘三人持てば家がつぶれる』この諺のあつた昔に比べれば今の結婚法はだん〜こ形式の皮をぬいで眞實になりかけてゐるやうですが、まだ〜前からの

△見得ばる 習慣は容易にぬけきらず、人が結婚するのか、着物が結婚するのだか、區別の出來ないやうなのも澤山にあります從つて結婚祝ひに持つて行く祝ひ物も身分不相應なものが多く、祝はれた方でも貰つた返禮こいふものを必ずしなければならない樣に思つてゐます。かうなつて來るこ貝でさへ混雜してゐる處へもつて來て祝はれた家へは夫々

△物品に應 じて送り返さなければならない手數がかゝる。結婚許りではない、出産の時も、喜びの心を表して貰つた物を一々返禮するので、不用な品を一度に買込んだこ同じやうな入費がかゝります、又貰つたものは必ず返すこいふ風習は差引き他人から何等の世話を受けぬこいふ獨立生活のしるしこも見られますが、これは折角物を贈つた人の厚意を無にするこいふ事にもなります。眞實の心からかうした形式的の

△虚偽の交 つた風習は眞實の社交を妨げるここ夥しい、何うかしてこれを根本から改め、貰つた厚意は永久に收めておくこか或は贈るこしても新婚夫妻の寫眞こかを記念のために贈るやうにしたら如何でせう。それから死亡の時も矢張りこれこ同じ意味で香奠返しこいふものを致しますが、これこても眞の同情から出た心の香りこして

△有り難く 收めておき其の人の厚意を永久に止めておく方が眞の意味の禮ではないでせうか、それもたつて返したいこ云ふのでしたら何か記念になるもの即ち當人の書いた筆跡こか或は寫眞こか故人を偲ぶよすがになるものを送り度いものです。私の知人の家では主人が死くなつた香奠返しこして風呂敷へ古人の詠じた和歌を染て送り、又故島村抱月氏の時は、たしか

△その著書『記念スタンプを捺して送られたこ記憶してゐます、徒らに古例にならつて饅頭なごを配るのは考へ物だこ思ひます。それから死亡廣告や通知書の文句を見るこ自分の奧さんの事を『荆妻』こか『愚妻』こか云つてゐますが、あれは謙遜の意を現はしたつもりでせうけれど、今日の時代にはあまり感心した言葉ではありません。かこ云つて何も賞める事はありませんから

△たゞ『妻』と しておけばよいでせう。それに通知の文章には定まりきつたやうな形式的の文字をつらねて『○○儀發生相叶はず云々こいふのを多く見ます。これでは死亡の時日は分りますが何病で死んだかさつぱり分らない。葬書でも六號活字にすれば病氣の種類位は書けませう。差支のない限りなるべく病後の經過及び臨終なごの模樣を丁寧に知らせる方法を取つた方がよいこ思ひます。(葉女史談)

皮膚科專門 外科 扇田醫院 京城太平通一丁目 電話三五八番

呉服 京染 京城本町三丁目 あらぎ屋 電長三〇六八

三月十日 (舊二月九日)

月曜 ▲みつのえ さる ▲かのえ ▲四緑 ▲佛滅 ▲危 ▲やぶる ▲昴 ▲巳東

陸軍紀念日

▼四・緑・▲遂に氣を配るべき日なり
▼五・黄・▲目的の外れ勝ちなる日也
▼六・白・▲うかこ人の世話をす不可
▼七・赤・▲乘出すこ損のゆく日なり
▼八・白・▲欺まされぬ樣用心すべし
▼九・紫・▲欣快の日にして願つたり叶つたりの調子好き日萬事に吉也
▼一・白・▲花の如く賑やかなる日にて何事もテキパキ行くべき日なり
▼二・黒・▲何こなく下らなき日なり
▼三・碧・▲親しみ深き日にて花やかに一日を愉快に暮し得べし萬事吉

演藝案内

有樂館 東京小林商會特約 米國ユニアサル會社特約 早川演藝部直營 活動寫眞常設館
當る三月五日より特選寫眞
米國ユニ社特約新作 人情喜劇『誰の手』全五卷 出演名優 エディス、ヂョンソン孃 フランクリン、ファナム氏
◎人情劇『都の中心』全三卷 ブリシラ、チィーン特作映畫 ゲレツトパーゲス著小説『白き猫』をエルマークリフトン氏映畫に改作せる名映畫
◎現代劇『惡靈』全五卷 役割 ジョーイフヤール、ディニク、其母 エドチ ブリシラ、ディーン嬢 エスター キャツスル アレユトン、デヤホールト氏 コビニ博士 ジヨセフ、ジラード氏 下女リー エブエリン、セルビー嬢

壽館 本町二丁目 電一〇五〇
新進浪界の快男兒三升家華城一行
當る三月五日より
▲水府老公『續』 本筆
▲鎌倉孝子傳『續』 升家奴春
▲慶安太平記『續』 升家華美
▲興の矢坂『續』 川晴若
▲壺世の逆浪 山松年
▲浮世の運 三升家
▲最近出來事 華城

浪花館 廣
▲初日滿員▼
浪界武者 桃中軒北海入道
浪界大立者 齊入院秀
毎夜七時開演
▲益々大好評▼

黄金館 電話(晝間)二二六六 (夜間)二二六七
大然色活動寫眞會社京城釜山一手代理店
當る三月八日より引續き特別興行
『鬼鹿毛入道』全四卷
連續大活劇 第六『鐵道王の娘』十九編
新派『春待つ人』

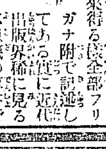
壽座 京城本町 電話五七八
劇祖元祖阪東巳之助一座
當る三月六日より替り狂言
▲前狂言 西郷吉之助巡遊記
▲切狂言 清水次郎長

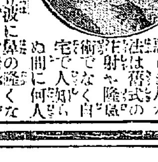
大正館 櫻井町 電話八七三
日本活動寫眞株式會社代理店
當る三月四日より大寫眞
米國マジェスティック會社作 人情劇『天使』 最長尺
活劇『里見二犬士』全三卷
新派悲劇『夕潮』全五卷

浪花館 京城明治町 電話二六〇
浪花節宗家 桃中軒北海入道一行
三月七日より晝夜開演
▲御國の花 吉川秀若
▲宮本左門之助 京山小女
▲義士傳 吉田小圓丸
▲吉岡又三郎 京山喜代若
▲法延の二婦人 京山秀廣
▲覺世の歴史 齊入院秀
▲村正改心錄 桃中軒北海入道

一番ヨクキクかぜつね藥
蛇印 アンチピリン丸
▲特長 ◎最新高貴藥の配伍 ◎絶對に副作用なし ◎胃中に溶解し易し
▲主效 ■感冒、ネツ ■インフルエンザ ■頭痛、風疹 ■リウマチス、オコリ
▲藥價 十錢、十五錢 廿五錢、五十錢
本舗 大阪東京 丹平商會
賣捌は全國各藥店

せきづい
拔群の大効ある不思議の奇薬にて一錢切手封入申越次第詳報す
播州明石相生町 横山家


▲市子▲みこ 口よせの術 ▲秘術傳授
本書は雙龍軒先生が多年秘藏せし一大奇書である官親聽候例で堂業を禁止されて居る『市子』『みこ』の口よせの術で『死人の口よせ』『生別れ』して居る人の口よせ、クチに云はれぬ思ふ人の口よせ、海外に居住して居る人の口よせ、死んだ可愛子供の口よせの秘術の理を示して如何なる無經驗な人にても立所に理解出來得る樣全部フリガナ附で記述してある實に近代出版界稀に見る不思議の傳授書である今回千人限り特に價金一圓二十錢送費八錢にて分本す後金希望者はハガキで申込次第代金引換小包貨物にて送本す
東京牛込區通寺町二十二番地 發行所 竹生英堂 振替東京參二九四〇番

鼻が高くなる
隆鼻器無料貸與

鼻は人生の花で最も大切な物で幸こ不幸の分れ道は實に鼻の格好一つである青年男女の内で ▲猶太鼻 ▲だんご鼻 ▲わし鼻 ▲其他鼻の格好の悪しき人は法は箱式の注射や隆鼻術でなく自宅で人に知れぬ間に何人にても見違ふ程立派に鼻の隆くなる新案特許の隆鼻器を希望者に無料で貸與すハガキで申込ば說方書全部を郵送す東京牛込通寺町廿二 東京醫療器械製作所

Scientific Research Made
MITSUWA GINSENG TABLETS.
100 tablets ¥ .50
500 tablets ¥ 2.00
This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochonderia, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only it improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

酒井醫學博士の實驗的研究に根基せる
◎ミツワ人參錠
定價 百錠入 金五十錢 五百錠入 金二圓 内地以外は關税運賃を加ふ

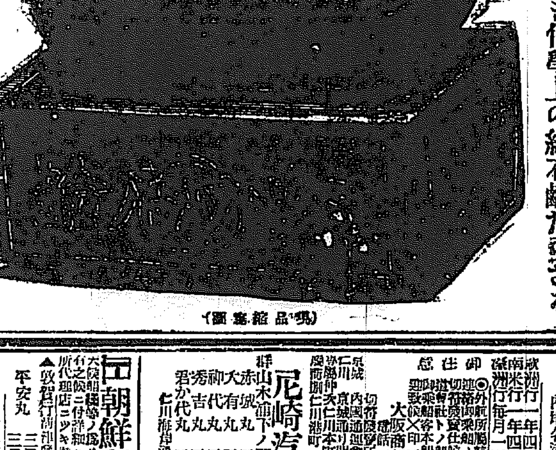
主効 神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、腎臟炎、貧血、老衰、榮養不良、精力減退。

醫學博士酒井和太郎氏はミツワ化學研究所に在つて、漢藥人參を實驗的に研究し、興奮、强壯等の諸作を呈することを證明せり、ミツワ人參錠は同博士の研究を基礎こし、合理的に精製せるものにして、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、及び是等の疾患に隨伴する諸症狀、即ち精神興奮、情調異常、意志薄弱、記憶計算不能、思考力判斷力記憶力減退、不眠、心悸亢進、手足厥冷、遺精、陰痿等に對して偉効を現はし、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血の如き神經系疾患を治し得べく、之を腎臟炎に適用すれば、尿異常、浮腫其他の苦惱を除き、分娩前後及び結核、癌腫、梅毒、慢性病、胃腸病、子宮病、諸種傳染病等に因る貧血並に榮養不良を回復して、體力を增進し、又精力減退即ち精神困憊並に筋肉の疲勞を癒し、頭腦を明晰にし、意氣を旺盛ならしめ、老衰の諸因を去る等の卓効を奏す。

適應諸症
一、頭が重く或は頭内が朦朧とする人
一、眼の疲れ易い人
一、逆上せて茫乎となる人
一、眠らうとしても眠れぬ人
一、惡れて凶い夢を見る人
一、些細の事を氣に懸ける人
一、何事にも怒り易い人
一、悲しい事も無いのに泣きたい人
一、物事の理非判斷の出來ぬ人
一、物事の記憶の不良い人
一、何事も悲觀して厭世的になる人
一、物事を深く考へることの出來ぬ人
一、物事に根氣の續かぬ人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、血の道に罹つて居る人
一、陰萎や遺精で悲觀する人
一、腎臟病に苦しむ人
一、産前産後又病後の衰弱を恢復したい人
一、勉學をして直に疲れる人
一、勞働をして疲れ易い人
一、精神の疲勞を早く治したい人

(現品縮寫圖)

◎ミツワ石鹸
凡そ石鹸は、工業用、洗滌用、洗濯用、浴槽用、化粧用等、各用途に從つて其の種類を異にすこ雖ども而かも皆等しく、遊離の亞爾加里なく、遊離の脂肪なく、些の混合物なき化學上の純石鹸たらざるべからざるは、素より當然のことなりこす。
皮脂の分泌量多くして而かも粗造なる本邦人の皮膚及び漆黒を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹸は啻に化學上の純石鹸たるの故のみを以て其適否を論ず可らず
◎ミツワ石鹸
は化學上の純石鹸たるのみならず尚左の性狀を具備す
一、原料を精選し、脂肪に、香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ゐず。
一、温雅の芳香を有す。
一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて、半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし。
故に、一般の家庭に於ける浴室、化粧用こして、衞生に適ひ、經濟に合する。理想的實用品なり


(現品縮寫圖)

種類	
大形	金貳拾錢
中形	金拾八錢
小形	金拾五錢
極小形	金六錢
水石鹸	金參拾五錢
內地以外は關税運賃を加ふ	

本舗
ミツワ家庭藥
ミツワ䀌那鐵葡萄酒
ミツワ人參葡萄酒
肝油ドロップス
御園化粧品
發賣元 ◎ 登錄商標
東京市日本橋區橋町四丁目
藥劑、滋養品、石鹸、香粧品、小間物問屋
丸見屋商店
電信略號◎ミヤ 振替口座東京七一〇番
營業部電話浪花三〇四八・四〇四九・四〇五〇番

大阪商船汽船出帆

(仁川出帆)
▲阪神直行 △沖縄丸 三月十四日 正午出
×群山木浦大阪行 信濃川丸 三月 日 正午出

(元山出帆)
●西湖津、新浦、城津、清津行 ●安平丸 三月十七日 後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 安平丸 三月 四日 後九時出

(大連出帆)
上海、基隆、打狗行 ●●基隆丸 三月 日 前六時出 湖北丸 三月十九日 後六時出

內地各港出帆主要航路
歐洲行 一年四回 北米行 毎月二回
南米行 一年四回 孟買行 毎月二回
濠洲行 毎月一回 南洋行 毎月一回

大阪商船株式會社仁川支店 電話二二番・二一〇番・五五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七〇八番

尼崎汽船出帆

群山木浦下ノ關大阪行
赤城丸 三月 日 後四時出
大有丸 三月十 日 後四時出
神代丸 三月十三日 後四時出
秀吉丸 三月 日 後四時出
君が代丸 三月 日 後四時出
仁川海岸通二丁目 宮杉回漕部 (電話五九番)

朝鮮郵船出帆

▲敦賀行 大阪發、門司、釜山、元山、城津、清津經由
平安丸 三月 日 元山發
▲浦汐行 平壌丸 三月 日 釜山發
▲雄基行 雄基丸 三月 日 元山發
×京畿丸 三月 日 釜山發
▲元山雄基線 元山起點各港經由雄基
▲大阪行 元山城津、清津經由 大保丸 三月 日 元山發
×關門行 雄基、城津、元山、釜山、馬山經由 咸鏡丸 三月 日 元山發
▲金剛山遊覽便 元山發着長箭經由
▲濟州島行 木浦發、濟州島經由
▲釜山浦項線 釜山發
▲釜山麗水線 釜山、麗水間往復
▲木浦麗水線 木浦發 木浦麗水間
▲多島海行 木浦發多島海各島行
▲木浦行 仁川發各地經由
▲鎭南浦行 仁川發各港經由
▲海州行 仁川發
▲大連行 仁川發芝罘經由
本社 京城南大門通 電話長一九五一・一二二三
仁川 釜山 元山 木浦 群山 清津 支店・出張所
其他各寄港地ニ荷客取扱店 電話長一〇七

汽車時刻

京釜線(南行) 同(北行) 湖南線(南行) 同(北行) 京義線(北行) 同(南行) 京仁線 同 京元線(北行) 同(南行)

第五版

京城日報

本紙定價　壹部金參錢　壹箇月金六拾五錢　▲參箇月金貳圓　▲六箇月壹圓四拾錢　▲壹年金七圓二拾錢
廣告料金　…
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合名會社京城日報社
電話番號　…　振替京城三〇〇番

…れた支那職工は約四五千人に達し…彼等は一定の制服を著け規律ある…した職工の種類は多種多樣で或者は學品製造に、或者は鐵工所、造船所等に…は佛國防に參與し或者は佛でも多數の支那勞働者を傭ひ入れ…行つてゐた者は終…勤儉貯蓄の美…貨を存し勤儉貯蓄の本場たる佛國…したから
▲支那に歸國する勞働…

◎大阪預金增加　大阪手形交換所の三月一日現在…前週に比し五百六十六萬…圓八十六圓前年同期に比し…

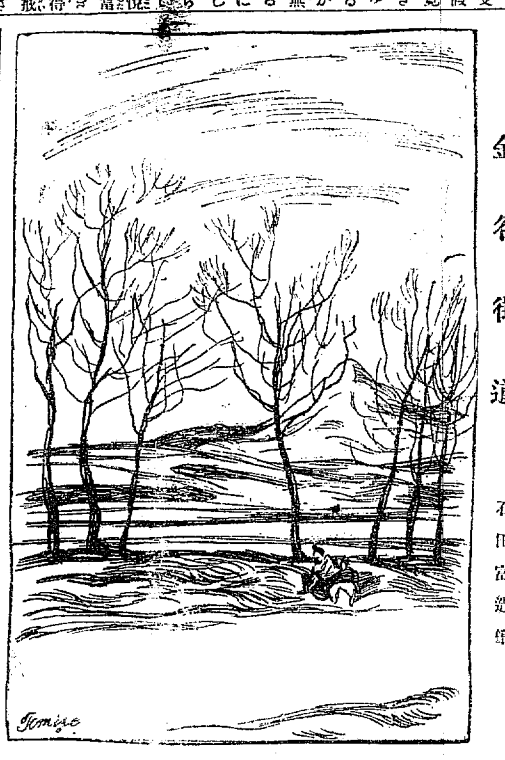
鮮人學生に誨ふ

京城日報

不祥なる今回の騷擾は、其筋の嚴重なる取締に因り、一先づ鎭靜に歸したる如しと雖も、此の波瀾に煽揚せられたる京城內に於ける[illegible]學校の學生は…[illegible]…べからず。…と雖も、吾人は生徒本人並に父兄に對し、一應勸告を試むるの止むを得ざるものあるなり。

今回の騷擾に關聯して檢擧拘禁せられ、後日愈有罪の判決を受けたるものは、更にもいはず、假令處罰を受けずとも、迷妄途に惑ひ、…して登校を肯んぜざる…の生徒に至りては、放校處分を…するの止むを得ざるものあるも、是等はさほど數多かりしこ思はれず。大多數は無思慮にも附和雷同せるを以て、此際速かに…し、當該校長に陳謝し…べからず。…も、固より彼が如き妄擧妄動を悦ばざることは彼の騷擾の際に當り、殆ど同情を寄せたるものなきに徵しても、明かに之を知るを得るを以て、嚴かに其の子弟を戒飭し、其の本心に立返らしめざるべからず。特に數多き生徒中には、衷心固より之を欲せざるも、四圍の壓迫脅威に因り、餘儀なく彼の妄擧に加はりたるもの亦多數を算すべく、是等は特に情狀の憫むべきものなるを以て、學校に於ても特別の詮議なかるべからず。又或ものは彼の妄擧には參加せざるも、危險を懼れ、當人又は父兄の意志を以て登校を差控へ居るものあるべし、是等は事の既に鎭靜に歸したる今日に於いて、一日も學業を曠廢すべきにあらざるを以て、たこひ一人なりとも速かに登校して、學生の本分を勵むべきなり。三月五日に發せられたる總督の訓示にも『之が爲め學を廢し業を停め、以て狂奔熱中する如きここあらば、必ず悔を他日に貽すに至らむ、宜しく速かに覺醒する所なかるべからず』こあり。狂奔熱中せるものすら、猶寬容を得べし、況んやそれほどの思慮もなく、又脅迫に餘儀なくせられたるものに於てをや。

吾人は此機會に於て、一言以て學生諸君に勸告する所あるべし。凡そ學生の本分なるものは、一心不亂に學業を勵み、德器を成就するに在り。是れ教育勅語の明かに示したまふ所にして、日本國民たるものは、日夜拳々服膺せざるべからず。德器成就して、始めて日本帝國の良民たるを得べく、良民たるを得て而して後に政治運動を爲すも不可なく、國政に對して堂々意見を發表するも可なり。然るに學校在學半途にして、材器未だ成らず、德義の觀念未だ洽からず、一知半解の知識を振舞はして、妄に政治的運動を爲すが如きは、自ら求めて不測の淵に身を投ずるが如し、此の如きはたま〳〵生半可に教育を受けたるが故に、其身を戕ひ、其父祖を辱かしむるものにして、洵に以て痛嘆するに堪へたり。古人は無知より勇なるはなしこいへるも、一知半解の知識ほど世に恐るべきものはなし。學生たるものは、克く此道理を辨別し、强固なる意志に依り、凡ての岐路に迷ふこごなく、凡ての誘惑に魅せらるゝこごなく、學業を卒ふるまで、終始一貫する所なかるべからず。青年學生が今回の騷擾に參加せるは、遺憾此上なしこ雖も、既往は咎ても詮なし、此際唯速かに自省して其本分を盡すべきのみ。



金谷街道　石田富造筆

ロ氏の聯盟評　戰爭助成の因のみ

次期議會に米國上院外交委員長たるべきロッヂ氏は二十八日上院に於て二時間半に亘り國際聯盟を評論せり要領左の如し

聯盟案の字句は蕪雜不明にして一條として解釋上紛爭を惹起せざるもの無し此點第一に修正を加へ一切

△曖昧の點 を明確に規定するを要す次に實質に付き之を見るに本案は明かにワシントンの訓戒及びモンロー主義を滅却す時勢は或は此傳來の政策を拋棄するを必要とせん然れども是れ米國民に取り(現)且重大の問題にして吾人は此大責任を取るに先だち再三再四熟慮攻究を遂げざるべからず又聯盟案第十條は各國の獨立及び領土保全を擔保す是れ重大且危險なる約束なり之を履行する爲には軍備を要す米國は其意思に反し他國の命令に依りて戰爭に入るの覺悟ありや最初より戰爭の用意を必要とする如き聯盟は果して

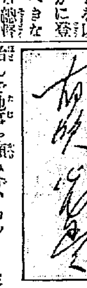
△平和確保 の最善方法なりや更に該聯盟は一切の國際紛爭を裁決するの權限あり從つて移民問題も固より聯盟に附議せらるべし移民及び歸化の問題の如きを外國の決定に委するは正に國家主權の[illegible]聯盟條約は斯の如き重大の義務を課し而も永久的のものなるに拘らず締盟脫退に付き何等規定する所なし要之本案に對しては第一モンロー主義に關する留保第二移民及歸化問題の除外第三平和的脫退規定を加へ其他各條の規定を更に明確にし殊に執行委員の措置勸告建言が拘束力ありや否やの點を確定するを要す然らずんば聯盟は平和を確保するよりは寧ろ戰爭を助成するの結果を生むべし若し本案其儘成立すこせば米國は何數十年國家の築きし米大陸の平和こを確保せるモンロー主義に歸り歐羅巴は希望こあらば自ら歐羅巴聯盟を作り米國は必要の場合之こ協同して世界の平和を計るに如かず由來合衆國にして國際聯盟に入るこせば是全然

△他愛主義 に出づるものにして米國自身は何等益する所無し故に米國を害し過當の犧牲を要求し又は他の野心の道具こ成るの虞ある聯盟には加入すべからず是れ戰爭の終末未だ醒めず人心浮動昂奮せるの際に遽に造せる該聯盟案に對して予は依然獨逸この講和を先にし一切の緊急問題落着を俟ち後聯盟を議すべしこの持論を棄てず云々（華盛頓發四日某所着電ー東京）

財界の新舊人（53）

有賀光豐君（下）

朝鮮殖產銀行理事　西海生



官吏こしての有賀君は儘に循吏である、君には縱橫の才氣こ潑剌たる手腕はないやうだ、然し乍ら頭腦は透徹、手腕は確、更に忠實にして謙厚、恪勤にして精勵、細心にして周密、その職務に當るや、殆んご他事を顧みず、コツ〳〵こして努めて倦まない、此點に於て君は理想的の事務官たりきこ云ふも不可なからう、其平凡な事も成るべく閑放を避け、些々たる問題にも自己の意見の發表を差し控へ只管大事を執りつゝ尙ほ之れ及ばざるを恐るゝ風があつた、萬一官吏に商人の如く石部金吉流の評を以て論ずるも差支へなしこすれば、君は正しく役人中の石部金吉であつたらう。

▲君は極めて理性に富み、軌道を決して脫せぬ人である、何事も二三が六、二五の十で行かぬこ承引の出來ぬ性質である、誤りがあれば直ちに之れを正さぬこ、人の事こ云はず自分の事こ云はず氣が濟まぬらしい、又自らを守るに急であつて、而して人に對し警戒の念を常時持してゐるやに見ゆる、之等の性格は人の急所もズン〳〵突き、又その對談に際し緊迫せる感じを人に與ふるのであらう、要するに君は靡麗な間違ひのない醇乎こして醇たる立派な紳士である、唯淸濁併せ呑むの雅量を缺ぎ、餘りに輪廓鮮明にして泥濘たる點を有してゐない。

▲部下に對しては、德を以て率ゐると云ふ側の人でなく、君は手腕こ頭腦を以て人の上に立つ方だこ云ふ人もある、恐らくある點まで事實であらう、銀行家こしての君の評價は尙ほ之れを後日に讓るを適當こせん、唯君の部長たる勸業金融部は、殖產銀行に附與された特權の殆ご全部を背負ひ、その活動こ否こは銀行の使命や成績に關する所少からず、旁その奮勵を庶幾する譯だが、君は數年間理財課長こして朝鮮の金融行政を管理し、半島の財界事情には通じ居るべく、殊に四百の多數を算する金融組合この連絡等に就ては、造詣も深く、意見もあるらしいから、相當の好果を擧げて行くであらう勸業金融は堅實の上にも堅實でなければならぬ、その點に於て君の如き堅實な人が部長職にあるは適任こ云へよう。

▲摩張せる人、一點スキのない人こ云ふ事は、その面貌に現はれてゐる、寶生流の謠曲は玄人の域を摩し、又將棋は京城紳士間に於ける屈指のさし人らしい、品行は方正、或は寧ろ方正に過ぎる方かも知れぬ、殖銀三理事の人物に通ずる某官吏が、櫻井君は春風、中村君は盛夏、而して有賀君は嚴冬の如き人だこ評してゐたが、幾分かその評語は當つてゐるであらう。

阪鄉雜咏（錄餘）　古城　梅溪

山鄉春淺雪頻催。此日征人冒夜回。竹外數枝皐的礫。拜看先考手栽梅。初夜還家
仙駿一去又無回。風物寂寥暗淚催。三徑荒涼人不見。庭梅依舊送香來。同上
風光蕭瑟屬殘年。久客飯吾禮佛前。幽几焚香客守夜。遺靈讀盡五更天。除夜
旭日三竿晶景新。鶯聲一路遊詩人。板橋南去竹林外。數點梅花占斷春。別府郊外

漢詩募集

▲題　看梅　▲體　七言絕句
▲期限　三月二十日限り
因に自今本欄に投稿せらるゝ漢詩其他の評語批點を附せず直に日曜詩壇に掲載せられたし

浪六先生新著

裸體の人間

（四六判上製美本　紙數四百餘頁）　正價金壹圓八十錢　郵送料十二錢

（創業十週年記念名著出版の內）

熱狂的大歡迎　各版即日賣切　七版出來

文明の粧飾を悉く剝ぎ取りし「裸體の人間」こゝに出でたり　本書また總ての無用なる粧飾を廢して趣味と實益の兩方面より內容を充實せしむ　浪六先生三年以來の著書を人間あらゆる階級に薦む

目次一斑　◎人間◎人と魚◎人と猿▲原始人類の棲息分布◎人と鳥▲鳥類の戀愛作用と人間の戀愛競爭◎原始的の男女◎男女の亂交時代▲親邪の抱擁▲一夫多妻の原因▲肉親姦の各國◎血を以て女を奪ひし時代◎女を財產とせし時代▲姦通は盜賊の罪の愛女は子の所有◎女の提出を禮儀とせし時代▲交換◎一夫多妻の時代▲一人の男に數十人の女◎婚姻の基礎時代▲掠奪婚姻▲暴力强姦の婚姻◎和姦婚姻◎婚姻の賣買時代▲年々一回の總婚姻▲日數を限れる夫婦◎一夫一婦の婚姻◎我帝國の太古◎我國の國民性◎習慣力▲數多の處女が裸體で跳躍▲德川家の大奧に女の裸踊り◎遺傳性◎戀愛史▲戀の崩芽▲入間は戀の動物▲一夫多妻の戀▲一妻多夫の戀▲單純なる戀と複雜なる戀▲不倫中に潛める戀▲人の頭◎人の質◎晝夜の人間▲夜▲戀風時代に勃發なる英雄の戀▲生理的色情▲代の戀愛狀態◎戀の罪▲姦通▲生殖慾の錯亂◎赤裸々◎人の首▲シーザーと雙太閤人の頭◎眼は心の索引▲眼の表情▲淚の解釋◎間の罪惡▲男よりも女の太腕◎文明病▲虛榮▲誇大妄想（外數十項）

發兌　東京日本橋本石町　振替東京一七四四　至誠堂

浪六先生著

西六特製　▲罵倒錄　定價一圓六十錢　送料十二錢
▲放言錄　定價一圓六十錢　送料十二錢
▲大正五人男　定價一圓三十錢　送料八錢　菊判美本

文學士　木村淨圓著

趣味と研究

佛樣の素行調查

忽ち三版　第五版

佛樣の正體は展覽會のやうに釋迦も阿彌陀も觀音も…名の付くものは悉く本書に陳列…
弘法…法然…親鸞…日蓮…傳教…道元…一休…各宗
…の批判を眞面目に滑稽に佛教界の…佛樣のアラ…
唯一の研究資料…
定價…　中央出版社　振替東京…七八〇

電球界の霸者

資本金壹百萬圓

帝國電氣工業株式會社

本社　東京市京橋區南金六町拾參番地　電話銀座一二二五番　振替口座東京四四二六九番
工場　東京府下大森町字富士見　電話大森一二四番

取締役會長　子爵　青山幸宜
專務取締役　松田茂幸
取締役　吉田丹治郎
取締役　永橋至剛
取締役　山本直良
常任監査役　守田愿
監査役　指田義雄
相談役　久野昌一

營業科目
一、ミカドランプ
一、ミカドソケット
一、金屬タングステン粉末
一、其他電氣器具各種

ソケット界の王者

朝鮮電氣興業株式會社株式募集

目的　朝鮮總督府の工業獎勵政策に順應し朝鮮無煙炭を原料こし「モンド」式瓦斯發電法に依る電力を一般に供給し且電力を基礎こする工業を經營するこ共に「モンド」瓦斯の副產物たる硫酸安母尼亞及「タール」等の製造販賣を爲し兼て無煙炭の採掘及販賣並に煉炭「コークス」其他石炭加工品の製造販賣を爲す

組織　株式會社こし本店及工場を朝鮮平壤に置き將に勃興せむこする西鮮工業界の先驅たらむことを期す

贊助　朝鮮總督府は大に本事業を贊助せられ直に會社設立の許可を與へられ加ふるに平壤大同江岸に於て海軍々用炭採掘所に接續し最も豐富なる無煙炭坑を附與せられ南滿洲鐵道株式會社亦本事業の爲に所要無煙炭の供給上多大の便宜を與へらる

後援　東洋拓殖株式會社は數萬株の株式を引受け且金融其他特殊の援助を與へらる

募集要項

一、資本金總額　金壹千萬圓（株式總數貳拾萬株　壹株の金額五拾圓）
一、募集株數　壹萬五千株
一、申込株數單位　拾株以上
一、申込期限　三月十一日より三月十五日迄
一、申込證據金　壹株に付金貳圓五拾錢
一、募入決定方法　應募株數超過の場合は發起人に於て適宜決定す割當の結果十株に滿たざるものは切捨つることあるべし
一、第壹回拂込金　壹株に付金拾五圓（證據金併算）

趣意書、目論見書、定款、株式申込證、印鑑用紙は取扱所に請求せらるべし

東京市麴町區有樂町一丁目一番地仲通三號
東洋拓殖株式會社內【專屬電話本局四五六四番】
朝鮮電氣興業株式會社創立事務所
發起人總代　川上常郎

發起人（イロハ順）
東京　大川平三郎　同　田中榮八郎　同　山本唯三郎
同　山本悌二郎　同　子爵　松平直平　同　馬越恭平
同　福川忠平　同　荒井泰治　横濱　長與程三
横濱　中村房次郎　大阪　稻本元之助　同　島德藏
神戶　三上豐夷　門司　中野金次郎　朝鮮　賀田金三郎
同　川上常郎　同　中村辰五郎　同　中村精七郎

贊成人（イロハ順）
東京　東洋拓殖株式會社　同　風間禮助　同　高柳久次郎
横濱　原富太郎　同　窪田潘市　同　藤崎三郎助
大阪　島定治郎　群馬　半田善四郎　京都　服部七兵衛
同　天日常次郎　京城　釘本藤次郎　同　古城管堂
同　金子直寬　平壤　林長太郎　同　大橋恒藏
同　柴田鈴三　同　竹中佐治郎　同　宮川五郎三郎
三千浦　大野育二　同　一柳村五郎　新安州　福井武次郎
大邱　山中通博　外百八十一名

株式申込及拂込取扱所

東京　臺灣銀行東京支店
同　第一銀行
同　帝國商業銀行
横濱　第一銀行横濱支店
名古屋　第一銀行名古屋支店
大阪　住友銀行
同　增田ビルブローカー銀行
同　朝鮮銀行大阪支店
神戶　第一銀行神戶支店
同　臺灣銀行神戶支店
福岡　第一銀行福岡支店
釜山　朝鮮銀行釜山支店
馬山　朝鮮殖產銀行馬山支店
群山　朝鮮銀行群山支店
大邱　朝鮮殖產銀行大邱支店
京城　朝鮮殖產銀行
同　第一銀行京城支店
平壤　朝鮮銀行平壤支店
鎭南浦　朝鮮銀行鎭南浦支店
新義州　朝鮮殖產銀行新義州支店
元山　朝鮮殖產銀行元山支店
奉天　朝鮮銀行奉天支店

東京　朝鮮銀行東京支店
同　住友銀行東京支店
同　增田ビルブローカー銀行東京支店
同　横濱七十四銀行東京支店
横濱　横濱七十四銀行
京都　第一銀行京都支店
大阪　臺灣銀行大阪支店
同　第一銀行大阪支店
神戶　朝鮮銀行神戶支店
下關　第一銀行下關支店
熊本　第一銀行熊本支店
釜山　第一銀行釜山支店
木浦　朝鮮銀行木浦支店
大邱　朝鮮銀行大邱支店
京城　朝鮮銀行
同　漢城銀行
仁川　朝鮮銀行仁川支店
平壤　朝鮮殖產銀行平壤支店
元山　朝鮮銀行元山支店
咸興　朝鮮殖產銀行咸興支店
大連　朝鮮銀行大連支店

第四十一回帝國議會

衆議院本會議（八日）

選擧法改正案上程

八日の衆議院は今期議會の最大問題たる選擧法改正案討議さる可き日なれば傍聽席は開會前既に滿員となれり午後一時十分開會諸般の報告ありて日程に入り

都市計畫法律案
市街地建築物法律案

右二案一括床內相提案理由を說明し高木益太郎氏（國民）借家人借地人の保護等に就き長廣舌を振ひて質問し內相の答辯あり廿七名の委員附託次に日程を變更し

貨幣法中改正法律案
織物消費稅法中改正法律案

右二案一括小林謙氏（憲政）提案理由說明委員附託次に愈當日の呼物たる選擧法改正案に入る先づ小川平吉氏（政友）特別委員長として報告に登らんとして登壇する時に首相亦大臣席に白頭を現し議場の空氣著しく緊張す

▲小川委員長　選擧法改正案は委員會を開く事八回愼重審議を盡せり政府案に於ては『恒產恒心』の意味より財產によりて制限を附するを可とし普通選擧は尙其時機に非ずと爲せり尙政府案諸般の報告、國民黨案の各案に就き其の經過及び結果を報告し知識階級問題、大小選擧區制問題、區劃問題等に就き比較的詳細に報告し更に修正案に就き辯明し採決の結果憲政黨、國民黨提出の兩案否決され政府案に決する（土屋興造氏（政友）池田敬一氏（無所屬）の修正案可決され殘餘政府案又可決を見たりと報告す茲に於て三案一括之れを讀題とし第二讀會に入り第一に

▲齋藤隆夫氏（憲政）登壇選擧權擴張は時勢の要求なりと兼ねて制限論者なるも選擧權擴張の意味より言へば我憲政案に依り二百萬を採らば新に五十萬人の有權者を加ふ可く知識階級を加へんか更に重要意味を有すべく財產無くも政治能力あらば之に選擧權を與ふるは當然ならずやと大いに憲政會案を力說す（東京特電）

▼朝鮮事變質問　憲政會代議士小川鄕太郎氏は八日朝鮮騷擾に關する質問意書を衆議院に提出せり（東京特電）

◇聯盟本部所在地

國際聯盟案は未だ講和會議に決定されざるに拘らず早くも聯盟の所在地問題が一般の下馬評に上りつゝあり而して從來の歷史關係上和蘭海牙に本部を置くべしと論ずるもの多きも白耳義はこれに反對して曰く戰時に於る和蘭の態度は海牙をして國際制裁權力の所在地たらしむるが如き特權を和蘭より剝奪するに價せり故に吾人は海牙に反對しブラッセルを本部所在地となすことを主張するものなりと（巴里電報）

◇佛國戰爭被害

佛國下院豫算委員會は始め占領地帶戰爭に原因する損害を調査し二百九十八億百萬法を計上したるが內百六十五億五千九百萬法は戰爭の直接損害にして殘餘は生產の減少等に基づく間接損害なり（巴里電報）

◇我軍の行動を激賞

陸軍省公表＝沿海州の新聞は一齊に日本軍の機敏且つ適當なる行動を激賞し日本軍に對する信賴の念を一層增大せり（東京特電）

◇政府對支方針宣明

支那希望達成援助＝具體的方法

六日の閣議に於て原首相內田外相田中陸相等協議成立せる對支方針に就て熟議を重ねたるが此際帝國は段氏一派との一切の因緣を斷絕せる事を中外に宣明し南北の何れにも偏せず公明正大の態度を持し支那が自發的に和平統一に進まんことを希望し內政不干涉の範圍にて支那の正當なる希望達成を援助す可く尙ほ具體的方法としては（一）領事裁判權撤廢（二）支那駐屯軍撤退（三）庚子賠款等支那國民全般の希望に對し帝國は率先之を援助するを辭せず而して今日より之を斷行し近くは和平會議の進捗に效果ある可く又軍隊解散等に要する費用に就ては帝國より率先して四國借款を勸誘し善後大借款を締結せしむるやう盡力す可しと（東京特電）

◇日支軍事協定發表か

政府は今回日支軍事協定及び附屬取極め一切を公表す可く右は外務陸海軍三省間の打合せを了せるを以て而に支那政府に通告し四五日中に東京及び北京にて同時に全部公表の運びに至る可しと傳へらる（東京電）

◇北京公使團決議

六日北京公使團會議にて小幡公使は去る一日支那政府に通告せる件に就き報告せるが七日英、佛、伊、米公使等會議を開き日本政府の執りたる處置を至當なりと決議し公使團は日本政府の申入れを支持する意味を外交部に通告せり（東京特電）

◇徐陳督軍に嚴命

停戰命令ありしも陳督軍は停戰の模樣無きより小幡公使は更に北京政府に勸告せる結果徐總統は七日更に嚴重なる命令を發し若し之を聞かざれば陳督軍を革職す可しと言へり（北京電報）

◇日米資本家提携

アボット氏の支那行に就いて

原首相談＝最近米人アボット氏が支那に赴くに就て右は日本を阻害せん爲めなりと做す者あれど之は無稽も甚だし米國の支那に於る經濟活動の爲めなりと做す者あれど之は無稽も甚しアボット氏は支那行の途次來朝し予と親しく會談し外務大藏兩當局共隔意無く意見を交換せるが米國銀行家は支那投資に就き日米共同を希望せる旨を述べたり氏の來朝は日米資本家の提携に一新時期を劃せるものにて米國が對支借款團復歸も日本の爲に希望し勸誘せる所なるが氏の來朝は之が決定を促進せる動機たる可し（東京特電）

◇陸軍要路異動說

今回關東都督府官制改革の結果關東州軍司令官を設置するに至りしより第四師團長立花小一郞中將軍司令官として赴任す可く立花師團長の後任は第十六師團長梨本宮守正王殿下の親補を見第十六師團長の後任は參謀本部第一部長宇垣一成少將中將に陞進親補され同時に參謀本部第一部長後任は武藤少將之に任じ又第廿師團長には齋藤中將親補さる可しと傳へらる（東京特電）

◇勅使御伏奏

日野勅使、三室戶御使は八日朝京山離宮に伺候し兩陛下に拜謁し國葬の模樣より李王家の御近況等を伏奏し優渥なる御慰勞の御諚を拜し午餐を賜はり午後三時渡御出立にて歸京せり（東京特電）

◇山田五師團長

第五師團長從四位勳二等功三級山田隆一中將は肺炎の爲七日夜廣島に於て逝去の旨陸軍省に通知あり享年五十有三（東京特電）

▲略歷　故山田隆一氏は山口縣士族山田貢二郞の二男にして慶應三年七月十六日を以て生れ大正四年三月分れて一等に敍せらる同廿四年七月歩兵少尉に任ぜられ同廿四年十二月陸軍大學校に入學卒業し歷て陸軍省副官に任ぜらる其間參謀本部員、歩兵第十一旅團長、陸軍歩兵學校長に歷補し清、韓國に派遣せられ又出征、歐洲研究の爲め獨逸に派遣され同日露役には第二軍參謀副長として出征し功三級金鵄勳章を賜はる

◇新政會分裂

新政會は分裂し大部分は無所屬團と合同し新團體を組織す可く團員は合計四十名以上に上るべく八日合同式舉行の筈（東京）

黨六代議士除名

八日午前十時二十分より國民黨は本部に於て議員會を開き高松、神谷、齋藤、大坂、伊東、村松六代議士を除名す

◎對支政策決定

愼重なる考慮を要す

帝國前政府の段として關係せる支那國防軍組織問題に關しては帝國政府も從來の行掛上依然關係を持續し來りたりと雖も最近の形勢と帝國現政府の政策とに鑑み適當の機會に於て

▲之れが始末をなさんとしつゝありたるは掩ふべからざる事實なり然るに此問題に關し在支一部の歐米人の感情は意外に過敏にして依然帝國が何等かの野心を包藏し居るかの如く思惟し其の結果直ちに南方派の和平代表者は英米人の主張に共鳴して帝國を陷れんと策し又北方武斷派の一派も自己の立場上國防軍を利用せんとしたる嫌なきに非ず果然去月下旬に至り此問題に關し帝國現政府の態度を誤解せる北京外交團の有力三國と帝國との間に一大外交的紛議を釀成するに至りたるが之が爲め帝國政府は國防軍問題及び之に關聯せる一切の問題に就き徹底的方針を決定するの必要を生じ遂に閣議を一決し小幡駐支公使宛國防軍始末に關し訓令を發するに至れり

▲支那に通告　依りて小幡公使は帝國一等書記官を一日外交部に出頭せしめ諸般の打合せをなさしめ翌二日小幡公使は外交部に至り文書を以て『帝國政府は支那和平の國是の本旨よりして國防軍の組織進捗が大障害たりと信ぜらるゝを以て支那政府に於て一時其組織を中止せらるゝは帝國政府の最も希望する所なり卽ち帝國政府は前陳の事情に鑑み參戰借款に依る軍器の引渡しを停止するを以て支那政府に於ても參戰借款の殘額の引出を控へられんことを希望し以て誠意和平解決の方途に出でられたし』との趣旨を通告し更に靑木中將をして段國防軍督辦にも此趣旨を傳へ一方徐大總統にも此非公式に通達する所ありたり帝國政府の此通告は是迄公式にこそ聲明せざれ現政府が夙に抱ける本旨なるが此機會に斯る措置を執りたるは內外の誤解を一掃するに有力なる印象を與ふべきは勿論なり

▲外交團に通告　又帝國政府は此決定的態度を北京外交團にも通告し外交團との行き掛りを除去するに資せんとし已に其措置を執りたりと信ずべき理由あるも果して之れを以て行き掛りを闡明に解決し得るや否やは疑問とすべく蓋し此等の關係は最も重大なる外交事態と云ふべし一方帝國政府の態度決定の爲に南北和平會議の直接の障礙として國防軍問題の繼續の罷せる陝西北軍の停戰令も徹底す可ければ或程度迄會議の進捗を見るに至るべしと雖も在支一部の歐米人が帝國の態度を猜疑し南方派亦之を利用せんとする一派は帝國をして對支外交場裡に於て孤立無援なる地位に陷らしむる結果に至るものなれば政府當局者の最も愼重なる考慮を要すべきは勿論なり（東京）

◎對支貿易變調

銀地の前途高低落か

▲支那銀市場　は歐洲戰亂中に於ては倫敦銀塊相場の如何に係はらず之と騰落を異にする傾きあり倫敦相場に比し常に幾分の上騰にありたる爲め我が對支爲替は四十兩前後を往復し本邦の對支輸出商は爲替損による貿易上の不利益甚大なりしが休戰後倫敦にて銀の公定相場を漸次引上げ其後公定相場を撤廢して市場自由の相場となすに至り戰時中に比し銀塊は漸次低落を示し本年一月中に於ては四十八片十六分の七となり更に二月十三日には四十八片を破りて四十七片八分の七と十六分の九方低落を示し更に最近に於て四十七片四分の三と更に八分の一方低落を告げたるが之が原因は云ふまでもなく大西洋運賃の騰落と銀塊積出しの緩和によるものにして今後米國銀塊の輸出諸掛り賃は益々遞減せらるゝと共に倫敦市場の相場は尙ほ一層の低落を示すは當然の理なり

▲對支那爲替　上述する處の如く戰時中倫敦銀塊相場の高低に係はらず强氣配なりし支那市場銀塊相場は休戰後は漸次倫敦相場と相應ずるの順調に復歸したるを以て我が支那向爲替は漸次有利となり從つて支那向輸出貿易は漸次商談成立するの傾向にあるが今試みに本年に入りて以來の上海向爲替相場を示せば大略左の如し

	上旬	中旬	下旬
一月	四〇、五〇	四一、五〇	四一、五〇
二月	四三、五〇	四四、〇〇	四五、二五

卽ち一月中の平均四十一兩二分の一なりしが二月十三日に至り俄然四十四兩となり更に下旬に入りて四十五兩四分の一と低落、有利の形勢を示しつゝあるが倫敦市場の銀塊相場が前途尙低落すべきは上述せし處の如きを以て我對支輸出貿易の前途尙一層有利となり支那商との取引調談上頗る興味を有する次第なれば對支貿易は愈々形勢變化しつゝあり

◎吉會踏查開始

吉會鐵道踏查の爲め曩に來城夫より會寧に向ひたる支那交通部員一行三十名は六日午前十時會寧を發し踏查を開始したりと

◎嘘から出た騷ぎ

＝某外國人談＝

此度の騷ぎのことですが、こんな譯の判らぬ話はありません吾々外國人の眼から公平に見て實に不思議で堪りません、講和會議が朝鮮の獨立を承諾したなんて其んなことを眞に受ける者もある者だがそれを眞に受ける者があると云ふは

▲奇々妙々です　而して其の會議に朝鮮を代表して朝鮮人が列席して居るやうに言ひ觸らして居るとは何たることでせう、國際會議は聯合各國の會議であつて其中心になつて居るのは日、英、米、佛、伊の五大國である中立國さへも未だ之に參列しては居らぬのである、朝鮮人が參列するなどは飛んでもない事ではないか、米國に居た朝鮮人が委員になつて參列したのだと唱へて居るが先般在米の朝鮮人が一種の口實を設けて寄附金を募集し巴里見物に出掛ける企てをして居たことは曾て耳にした處であるが、或は此の連中が佛國に行つたのだと云ふのであらうか、此の連中が巴里に行つたとて誰が對手にする者はない

▲下宿屋に轉がつて居る位のものであらう、否此の人達が渡歐したと云ふことも證跡を認めぬから多分嘘であらうと思ふ何れにしても虛中虛を構へ全然有りもせぬことを根據にして人心を惑亂せんと試みるものに過ぎぬのと私は信じて居ます、抑も日本帝國は大戰爭に對して偉大な働きをしたには違ひはないが、私共の國（話者は五大國の一國人なり）に比べると失禮ながら一步を讓つて居ると思ふ、然れども列强は日本の努力と實力とを認めて五大國の一に加へ充分の敬意を拂ひ又以て分の尊重を加へて居る、又以て列强が日本に對する情誼の厚きを見るべき確證である、列强が日本の意思に逆らふ如きことを爲さうとは言ふ迄もないことです、私は當地に來てから熟ら統治の成績を見るのに朝鮮人の

▲財產は安固に　あれは確實にせられて一般人民の幸福は昔時と比べものにならぬことを發見して居る、朝鮮人は何を苦しんで獨立呼ばはりをするのか實に解すべからざることである

◎西鮮航路開始

朝鮮郵船經營の鎭南浦及び仁川濟州線は結氷のため休航中なりしが十一日仁川發より航路開始に付諸鐵朝鮮線との連帶輸送も同時に取扱を開始す可しと

◎仁川後場休會

追證の整理

仁川期米の後場は前場に於て底拔け的暴落を來したるを以て賣方より追證徵收の必要あり整理上除なく休會となりしが買方の難澁する事となりしが追證納入完濟するや否やを疑はれ相場は內地市場に比し割高にあるだけ買方の氣勢は益々惡化の模樣なりと

◎二月下半商況

二月下半の京城商況に付き某所の調査左の如し

▲皮革及牛皮　皮革は上半月多少底强かりし相場も內地在荷潤澤にして荷動き不振なると來品の輸入順調となりしは大勢を嫌氣し昨今當地需要一段落後は內地氣配に伴ひ幾分の引緩みを見るに至るべし牛皮は前記の如く大皮八十六圓中皮六十六圓小皮八十三圓の値頃にて越月せり

▲粟　中頃相場見直し後亦々先物の入荷を見越し氣間の模樣なりしが地場に於ける需要增加と支那方筋の註文多き爲め入品の消化順調にして氣配軟味の傾きながら別に相場は緩まざりしも下旬に入り先約物の入荷廻着せしと正米の軟化等にて漸落の一途を辿り滿城物十七圓、邑岡物十六圓二十錢にて越月せり

▲綿布　在荷潤澤なると荷動きの不振は漸落の一途を辿り三A粟四百十圓の安値を示したるも細布は依然品薄にて一A粟二十圓の値頃にて越月せり

▲大豆　滿洲物に頭を押へられて延びざりし該品は愈、相場に讀みを見せ加之關稅撤廢を見越し思惑買過ぎ其反動氣味にて自然商內も捗々しからず釜山物十七圓三十錢、仁川物十七圓の値頃を示せり

▲米穀　中旬迄は底强く構へたる該品も期米安、荷主の思惑筋の賣控並びに金融逼迫き、精米筋の買控へ等の主因は漸次傾向を軟弱ならしめ相場も平均三十五圓七十錢高値三十五圓九十錢安値三十五圓五十錢の値頃にて越月せり

▲金融　久しく硬勢を持續したる米價は下半月に入り米穀金融の弛みと共に漸落の步調に向ひたれば持米筋は金融倍みの姿となり隨つて此方面資金の回收を見る能はず加ふるに代用穀物其他輸移入品代金の決濟原料葉煙草買付資金等夥しく需要あり其結果組合銀行を通算し上半月末に比し預金に於て約百萬圓を減少し貸金に於て約百五十萬圓の增進を示せり

◎保安林解除

國有林として保安林たる京城府古市町元町外一箇所約三十九町步は保安林たるを解除すべき旨九日告示さるべし

○臨波商會目的變更　全羅北道沃溝郡所在株式會社臨波商會の營業目的變更の件は豫て出願中のところ三月七日附許可の指令ありたり

○運輸營業開始　本月一日より中央本線東京萬世橋間鐵道旅客運輸營業開始の旨京管局に通知あり

人事消息

▲中村光吉氏（朝鮮銀理事）來る十五日午後七時五十分南大門驛發列車にて東上の筈

▲飯島渤治氏（忠北淸州憲兵分隊長）八日夜入城中なり

鳥瞰錄

長壽法の著者として實行者として世界に著聞したウエーベル博士は此程九十五歲の高齡で倫敦に病歿した▲博士は又た肺結核の開放空氣療法の首唱者であつて高山療法の首唱者でもあつた▲我國にも近頃勃興した林間學校林間療法なども博士の率先主唱したものである▲朝鮮にも緣故のある黑板勝美博士が東京府下中澁谷に堂々たる邸宅を新築した▲博士の名を知らぬ附近のものは何處の成金の居敷かと評つて居る程立派なものだ相な▲處で博士は先頃此新宅に心易い友人を招いて一夕の披露宴を張つた內藤湖南博士も其一人として出席した▲主客の間には暫らく結構な新築に對する說明やら批評の言葉で持切つて居たが▲湖南博士が急に口を切つて『所がね黑板君一つ不似合なものがあるよ』と云やつたので一同は何かと博士の面を仰ぐ▲黑板博士も膝を乘り出して『其の不似合』とは眼が光らす▲湖南博士はニヤリ／＼と笑ひながら『其の不似合かね其れはチト失敬だが主人公サ』で一座は總崩れに笑ひ崩れたとは成る程面白い

客月京城氣象

（京城測候所調査）

[illegible]したり最多風向は十一月來一定し平年に比し大差なく依然西北西にして西之に亞ぐ平均風速度は一米六を算するに過ぎず[illegible]

東京株式特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

下關期米

[illegible]

早稻田大學學生募集

專門部		大學部高等豫科					高等師範部豫科	
政治經濟科	法律科	政治經濟學科	法學科（獨法、英法）	文學科（哲學、英文學、史學及社會學）	商科	理工科（機械、電氣、採鑛冶金、建築、應用化學）	國語漢文科	英語科
第一學年		第一學年第一學期						

○上記各科共四月一日（火）午前八時學力考查試驗を行ふ（中等程度　諸學校優等卒業生に限り無試驗入學を許す但し理工科は之を除く）。
○入學願書は三月十一日より受理す。
○授業は四月十一日より開始す。
○規則は郵券三錢封入請求のこと。

農產　種苗定價表
梨、苹果、葡萄、桃苗外果樹苗及內外農產種子
（はがきにて申込み次第迅速贈呈す）
日本第一生產地本場
埼玉縣北足立郡安行村
安行植物園

京城本町二丁目
村木時計舖
電話四七一一番・振替三一九〇番

京城鍾路五丁目　私立朝鮮藥學校
▲生徒募集　內鮮人男女六十名、願書受付四月十五日限　入學試驗四月二十日

消防組を設立せよ
然して財產と生命との安全を計れ

京城　熊平支店
振替京城一一二番　電話長三一六二四五番

朝鮮總督府中央試驗所
試驗濟　不老長壽　補血强壯
高麗特製人蔘エキス
製造元　廣岡正隆堂人蔘部
發賣元　株式會社明治屋京城支店
大卸元　福榮商會

公示催告
[illegible]
京城地方法院

公告
一、本町四丁目外五ヶ所水道復舊工事
右來ル三月十一日午前十一時入札ス
希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ見ヨ
京城府

公告
一、牛血外參點
右來ル三月十七日午後二時入札ス
希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ見ヨ
京城府

引續き盛況　初日滿員
山崎長之助成功劇
春待つ人
大阪角座で多大の好評博して居る山崎長劇が當館で見られます
●本日晝夜開演
黃金館

最新刊
國民の精神的基礎　加藤咄堂
家庭園藝十二ヶ月
書翰文規範及文例
[illegible]

京城本町一丁目
大阪屋號

皇子傅育官長故三好愛吉先生追悼會來ル十日午後四時半長沙洞妙心寺ニ於テ相營ミ申候ニ付生前知己門弟諸君多數御出席被下度此段謹告仕候
在京城　[illegible]

（明治三十九年九月八日第三種郵便物認可）

に比較すれば卸下の較差高く其全月變化は一般に月央前後迄は大陸方面の氣壓高度を保持せしを以て高く而後は氣壓配置緩漫となり氣温の上昇と共に氣壓は概ね低度を示……一米一を送り同時に可なりの降雪を伴ひ其融量四耗七は全月最多降水日量なりし氣温の全月平均零下一度九は昨年に比し二度一低きも……るに過ぎず日數四日も亦平年より二少く從つて稍日照時に日富たみり而して冬期現象は雪五日結霜十日降雹一日霧四日を觀測し殊も……

原菌發見

流行性感冒の原菌發見せられたり（倫敦十一日發）

[illegible]

◎哀れな露國の孤兒
浦鹽計りでも一千名　奇抜な捨子室の設備

戰爭に續くに革命を以てしたる露國の社會は上は有産階級の人々より下は下層勞働者に至るまでドン底の苦しみを嘗めて居る而して之等生活の破産者の中で最も哀れなるは貧兒、孤兒の類である今や全露國を通じて此等貧兒、孤兒の數は

◆**無慮四百萬** の多きに達し浦鹽のみにても一千名以上の貧兒、孤兒乃至老廢者が居るが之等の救濟に就て市役所は全く弱り果てゝ居る　下は財岸ロシア島の東部スラヴォーツカ貧孤兒院に收容して居るが然し市役所も長らくの戰爭で年六十萬留の維持費の

◆**財源は無く** 且つ多間は燃料其他衣服等で支出が嵩まる一方で院職員に對して今年に入つてから未だ一回も給料を拂ひ得ない始末である之れに對し孤兒、貧兒乃至行倒れの數は日々増加する一方で市救濟會は到底持切れず今回愈、在留外國人に援助を乞ふたそこで

◆**我總領事館** 西伯利經濟援助會、在留外國人殊に米國宣教師等でも捨置けず在留民に檄を飛ばして義捐金を募り一方貧孤兒院の現状を視察して至急何とか方法を講じようとして居る前に述べたスラヴォーツカの貧孤兒院は海軍將校會の南方金角灣に面んで老人部、貧兒部、孤兒部の三部に分ちたる建物より成つたもので一棟は事務室に充てられた

◆**赤色煉瓦の** 頗る宏壯なものである各部共に寢室、食堂、遊戯室、診察室に分れ清潔と温かさとは先づ參觀者をして案外の觀を起さしめた哀らしい貧孤兒が婦職員の慈愛の手に毎日祖國の苦しみ外に遊戯して居る寢室には小さい寢臺が幾十となく列べられ枕元には

◆**寄贈の手拭** が一つ宛掛けられてあるので宛然兵營の觀がある特に珍らしいのは棄兒室で柳行李の中に白布を敷いて其中に生れた計りの赤ん坊がピク／＼して居るが之等の棄兒は院の玄關に置いてある棄兒受附函に置去りにした子供であつて多くは兵卒水兵と女中下女との間に生れた者であると同所の收容貧孤兒は約二百名であるが露國の

◆**政爭尚は熄** まず社會狀態は日に恐るべき暗黒に沈まんとする際浦鹽のみならず露全國に於ける此等の貧孤兒の運命は如何になつて行くのであらうか之れは大いに研究すべき問題であらう

第十六回の御誕生を迎へられし良子女王殿下
學事に勵しまる

未來の東宮妃殿下たらせらるべき久邇宮良子女王殿下には六日を以て恰も第十六回の御誕生記念日を迎へられたるが一家職は女王殿下の御近況に關し謹話すらく『殿下には昨年冊立御治定と共に學習院を御退學後は御邸內奥庭の新築日本式二階家を御學問所と遊ばし御通學の時と異なることなく奉仕の教員から各學科を御學びになられ昨冬中も御避寒等の御暇だに惜ませられる御有樣です此學科は普通科一切と豫科の御修養及び體操に迄及び御發育の御發達は誠に御見事に拜せられます』

悲喜さま／＼　女學校の受驗成績發表

◎癌は處女に尠い
人工乳癌に成功せる山極博士の研究發表

癌研究の權威山極醫學博士が兎の耳へ人工的癌腫を發生せしめる試驗は確實の成功を得たが之れに對し醫學界の一部には該研究が單に表皮癌に限られて腺癌の人工的發生を

◇**證明する** に及ばぬの非難があるので大正六年以來博士は助手市川農學士と共に更に乳癌の人工的發生を企て最近に至つて稍曙光を認めたので今度東京醫學會で其成果を發表した其大要に曰く『癌腫の原因は特別の病原に依るでもなく

◇**先天的に** 癌腫になるべき組織又は細胞ありでもなく周圍の境遇殊に反覆作用する機性の炎性刺戟に依ると云ふ確信の下に私は大正二年以來兎を試驗動物としてその耳にコールタールを反覆塗擦して刺戟を與へ大正五年に至つて人工的表皮癌を作る事に成功した表皮癌は舌癌胃癌腸癌肝臟癌等の腺癌に比べると稍

◇**性質の良** いものが多いが其の原因は何れも同じものと信じたから大正六年六月以來四十八例の兎の乳腺にコールタールの水溶液とラノリン（羊の脂肪）とを混じたものを塗つて試驗する事今日に至るまで六回その內二例に於て乳腺の上皮に乳癌と認むべき乃至その初期と認むべきものを發生せしめ得て而も夫に依つて癌腫に至る移向を證明する事を得たのである是れは自分達の研究が最初で

◇**未だ嘗て** 外國にも例を聞かぬ但し此の試驗研究に使つて得た癌腫は餘り小さいのでその爲め死んだ兎はない猶實驗中に不圖妊娠した兎のある兎に生じた癌は甚だ興味あるものであつたが是れに依ると癌腫は子を生んだ女に多く生じ易く、處女に少いと云ふことが愈、明白に證明されると思ふ』（東京）

◎戰利獨艇天覽に供す
今秋の觀艦式に

佐世保鎭守府の獨逸潜航艇はマルタ島にて約三週間に亘りて艤装檢査の上菅野少將同航委員長として工作船關東丸（指揮官今泉大佐）及び第二特務艦隊の一部と共に凱旋佐世保に歸航の豫定にて六月中には歸航を了すべきが海軍省は如上艦艇のアデンを過ぎると共に佐世保より一二隻の特務艦を仕立て新嘉坡附近迄出迎ひ而して右戰利艇は横須賀他四鎭守府に配屬し更に戰捷記念の意味を以て廣く公衆の觀覽を許可すべく又今秋の觀艦式は湘南沖の式場に參加排列せしめ　陛下の御前に於て各種動作を天覽に供する事となるべしと

◎三浦中佐は無事か
市內の親戚に來た家族の回答

西伯利從軍中の千葉縣佐倉歩兵第五聯隊附き中佐三浦眞氏が滿洲里方面に於て馬賊の爲め銃殺されたりとの報新聞紙上に傳へられたるに付き中佐の義兄に當る在京城總督府官吏今泉茂松氏は其眞僞を確かむべく中佐夫人及び其他二三の人に照會の電報を發したるに何れも同中佐は無事なるべしとの答電ありたり

◎近く開催の畜產博
李王家からも出品

上野不忍池畔に開かる、畜產博覽會は此程漸く諸般の準備を整へ愈、來る十八日を以て賑々しく開會するまでに漕ぎつけたが前景氣は素晴らしく賣店の申込の如き豫約數の

◇**三倍に達** し出品點數も亦二倍の數に上るさか尚餘興等の呼物には畜產ダンスを始め狐の嫁入が子供向で學校生徒大供にも毛織物の順序を示した活動寫眞と東京織物會社が九十六坪の特設館で見せる男女職工數百名の實演が興味を唆る外に

◇**食道樂に** は長崎縣俵物中博士考案の豚と羊の料理を賞味するもよい、又青島產の粉末雞卵など珍味もある珍貴の出品には李王家より猪、栗鼠の外に農商務……

◎卒業式
中等程度の各學校の日割

學年の總勘定期が來て各學校共夫々卒業證書授與式の準備に忙殺されて居るが中等學校は來る十一日を以て行はる・左記日割

三月十一日午前　釜山中學校
同　日午後　私立善隣商業學校
十二日午後　京城中學校
十五日午前　私立培材高等普通學校
二十日午前　京城專修學校
二十日同　大邱高等普通學校
二十日午後　仁川公立商業專修學校

京城中學校では同日附屬小學校の卒業式をも併せ行ふ事になつて居る

◎五中學入學志望者
府內八小學校で　二百六十四名

京城府內八小學校本年四月より府內各地中學校に入學せんとする者を調査せるに現在々學生數は尋常六年以上七百五十名にして內全鮮五中學に入學せんとする者は尋常六年生百九十九名高等科六十五名合計二百六十四名ありて之れを細別し京城中學龍山中學に入學せんと欲する者を擧ぐれば日の出三十一名櫻井三十八名鍾路二十八名西大門百八名東大門二十名龍山十二名元町二十一名にして京城中學を希望する者百三十九名龍山中學同百十九名なりと

◇歸朝せる常陸丸船員（右より）一等機關士小林辰次、次席信號手佐竹軍司、機關士生徒田淵勇一、一等運轉士木村正平、三等運轉士西川傳次、三等機關士宮島正臣、運轉士生徒尾崎守、事務員山田朝彦

◎不義を憤つて
撫順の親友殺し

撫順炭礦明石町改造所附近に於て三日午後九時半頃銃殺事件ありたるとは既報の如くなるが今其の顛末を報道せんに加害者撫順炭坑古城子坑電氣工鹿兒島縣肝屬郡串木村字田神士族川上榮五男介（二）は被害者鹿兒島縣日置郡串木村士族入枝榮（二）と親友の間柄にて川上は昨年一月鄕里より

△**內縁の妻** 山本きり（三）を迎へ家庭は圓滿にして被害者入枝も常に同人宅に往復せるに端なくも六月頃より入枝と川上の妻女きりとの間に不義の關係ありしが如き風評あり以來川上は入枝と絶交し屢々妻女を折檻せし事あり遂に妻女をして入枝との不義の關係を告白せしめたり入枝は其の後同縣出身の親友石神方に厄介となり入居したるも昨年十二月勤務中列車の爲め

△**右足切斷** の負傷にて炭礦病院に入院治療中近々退院する事となりたれば三日外出を得て將來に付いての相談の爲め石神方に至り種々語り合ひ午後九時頃辭去せんとして表に出でたる所を豫て同人の來訪を知れる川上は用意の二連發銃にて二發入枝の胸部を射ち一發は遂に命中し即死せしめ川上は直ちに自首し出でたり（撫順）

◎醜業婦の渡航を防止
婦人矯風會の新運動

基督教婦人矯風會は海外各方面に於ける醜業婦を救濟し併せて其の渡航を防止せん爲め今回『海外醜業婦防止部』といふを設置し矢島楫子、林歌子、守屋東、久布白落實四女史とペンロット嬢、ボールスクット（傳導師）フックモーア（東洋英和女學校教頭）の諸氏等專ら

◇**其の任に** 當り積極的運動を開始する事となつた右に就て久布白女史は語つて曰く『最近東京でも各方面の人達が公私娼廢止運動を起しましたが之れと共に海外に渡航する醜業婦をも嚴重に取締まり之れが防止せねばなりません當會では此の方面に

◇**努力手を** 下して現に西伯利方面にも人を派遣して視察せしめましたが其の結果哈爾賓と浦鹽の二市にステーションハウスを設けて嚴重に防止運動をすることになりました其他九州支部から

◇**島原に派** し其周の風敎を……傳道師を……事は將來は支那滿洲朝鮮方面にも支部を設けて大に働き度いと思つて居ります』

◎及第？落第？
小さき胸躍らせて　掲示に集まる數百の瞳　悲喜樣々其日の校庭
高等女學校の入學試驗成績發表

京城高等女學校では六七兩日執行した入學試驗の成績を八日の午後豫定よりも一時間繰上げて二時に發表した及落如何にと小さい胸を躍らせながら朝から學校へ詰め掛けて居た者も隨分あつたが大方は午砲を聞いてからゾロ／＼と集まつて來た、中には

△**親兄弟に** 連れられた者も尠くなく、何れも發表場所の雨天體操場附近に集まつて發表を今か／＼と待つ內、及第者の人名を書き並べた長い／＼紙が軒下に貼出される受驗者はドツと殺到して一齊の目標の月夫を見る、幸ひにして自分の名を見付け出した者は恰も

△**鬼の首で** も取つた樣に喜び躍り『あら嬉しッ』と雀躍して悦ぶ及第者は〆て百五十名と云ふから九十三名は所謂落第の悲哀を感じた譯であるが中には顏も上げ得ずシク／＼と泣くものも大分あつた此外受驗者の家族や親戚の者から及落を

△**電話で問** ひ合せて來る者が隨分多かつたが、鍾路小學校の齋藤、兒玉兩先生は受持生徒の成績が案じられると態々學校に來て名簿を調べて居た、因に及第者は四月一日午後一時から保證人同伴登校せねばならぬ

◎活動は米國物が全盛
伊太利物や英國物は來ない

嘗て我が活動寫眞界に紹介された伊太利物や英國物は今日の所未だ輸入が少く假令有つても戰禍の結果停滯勝である其處へ行くと米國物は新しい試みや、內容も戰前とは異なり驚く程

◇**兵役觀念** を鼓吹し自由意志の尊重を説くヒルムが多く一般にしんみりとした人情味のある所謂社會活劇なるものが多いので歡迎されて居ると當業者の談を聞くに『輸入さる、ヒルムは米國物が一番多く而も此處二三年間は歐洲方面でも米國物に壓倒される傾きがあるのですそれも例の伊太利物や英國物は近頃の

◇**日本人の** 趣味から離れた傾きがあり日本人には米國物が好かれて來た兎に角米國では以前と違ひ男子らしい活動を希望する樣になり從つてヒルム上にも此の傾向が現はれて居るその中にも優しい人情味の加はる人情劇物が歡迎され又餘り

◇**長尺の物** は喜ばれずいく／＼乃至六卷もの物が歡迎される傾きになつて來た然し喜劇物は未だ廢らずチャップリンやドウグラス物が相變らず歡迎されて居るヒルムも以前一尺十八錢から二十錢位したものが今日では卅錢位し少し良い物になると四五十錢は取られる我國の

◇**活動界も** 大分一般から了解されて今日では陸軍方面でも色々便宜を與へられ出來る丈け軍艦を利用しても宜い事となり今回の西伯利にも活動寫眞として初めて從軍を許可されました』

◎殉職憲兵へ弔慰金
總督と警務總長から贈る

今回壯烈なる死を遂げたる砂川驛在所佐藤憲兵上等兵遺族に對し長谷川總督より百五十圓、兒島總長より七十五圓を兩助員の遺族には總督より各百圓總長より各五十圓を弔慰として贈る事となれり

◎團體列車運轉

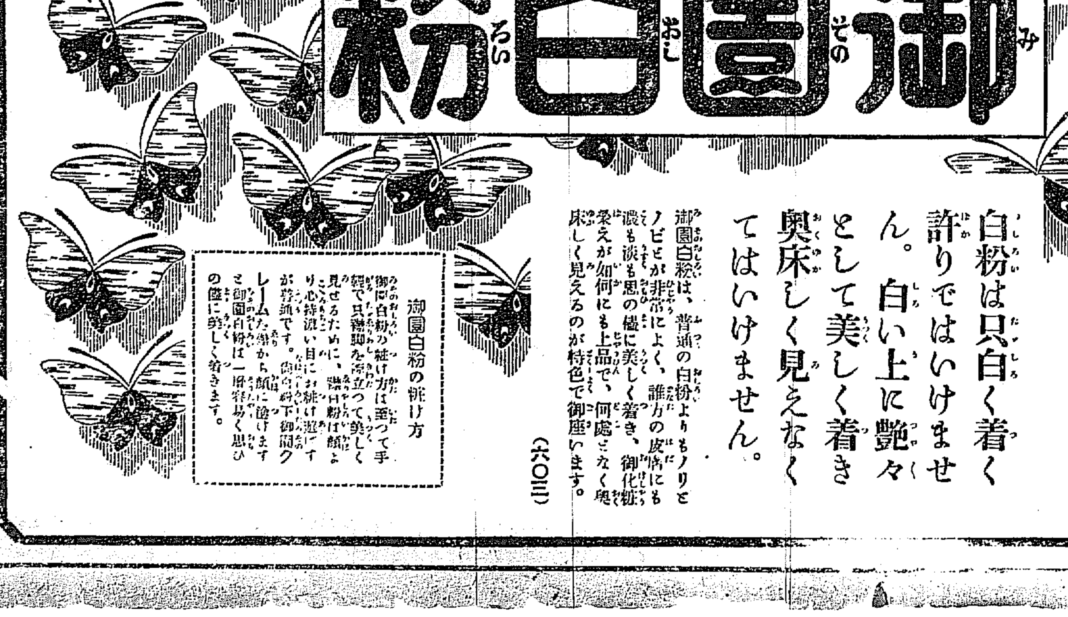
京管局にては團體旅拜觀乘客の爲め一時團體乘車を停止中なりしが來る十日より平常の通り取扱ひを開始する事となれり

◎歌留多會盛況

阿部達子送別歌留多大會は既報の如く七日午後二時より京城倶樂部城支部樓上に於て開かれた、仁川より會の主將上田達氏等來會せしも雨天の爲め來會者約三十名を算するのみ美矢飛、漣、鵜、谷の各會の猛者達が相對して激戰三回は非常な激戰であつた高田、谷口、白石、宮原四氏は三勝、一勝、中島、久木田の諸氏が二勝となり優勝試合は藥樹其他で高田對白石の一組があつたのみ白石初めより御手附の連發にて高田倶樂部に大勢は白石二枚高田八枚となる二龍相鬪ふが如く見らたが白石『風をいたみ』を拔次いで『あま山』の御手附を高田がやつたので遺憾ながら月桂冠は白石の手に握られ本社寄贈の賞牌並に賞品は優勝者に授與せられた當日の優勝者次の如し
一等白石　美矢飛二等高田（漣）三等谷口、四等宮原五等中島

◎練習野球試合

九日午後一時より龍山鐵道グラウンドに於て鮮銀藻陽倶樂部連合軍對鐵道倶樂部の練習野球試合ある筈



御園白粉

白い上に美しい

白粉は只白く着く許りではいけません。白い上に艶々として美しく着き奥床しく見えなくてはいけません。

御園白粉は、普通の白粉よりもノリとノビとが非常によく、誰方の皮膚にも濃も淡も思の儘に美しく着き、御化粧栄えが如何にも上品で、何處となく奥床しく見えるのが特色で御座います。

御園白粉の附け方
御園白粉が附け方は至つて手輕で只糊脚を浮立つて美しく見せるために、煉白粉は顏より心持濃い目にお附け遊ばすが肝要です。御白粉下御園クレームを顏から顏に塗けますと御園白粉は一層着易く思ひの儘に美しく着きます。

（六〇三）

蜂印香竄葡萄酒は

味はつて見給へ　試して見給へ
どんなに美味か　どんなに滋養多いか

只毎食前一杯づゝで　血を増し肉を肥し　メキ／＼健康を増進す

▼金銀賞牌廿四個受領▲

蜂印香竄葡萄酒は純正にして最優等の生葡萄酒に補血強壮料を主成分として精製せる貴重品なり

東京本町　株式會社　近藤利兵衛

入院　隨意

院長　島崎龍一

島崎病院

京城府旭町二丁目・電話一一七・六番

京城古市町電話二七四六番

硝子製　瓶類

畑兄弟硝子工場

主　硝子工場特製人参エキス瓶……に限る
其他一般の御注文に可應候

氣象　天氣　……　期米　……

[illegible]

母と子　(百廿六)

北島春石作　森田久畫

電報　(二)

『おや、電報が來ましたかね。』と幹尾は女中を見返つた『直にこちらへ見せておくれ。』

『はい。』

お馬の差出す電報を受取つて、まづ表書を見入つた後『志保子さんやお喜びなさい。』わたしは直にそれと悟つたが、やつぱり昇一郎が寄越したのですよ。』

『まあ、左樣でございますか。』と志保子も膝をすゝめて『わざ〳〵電報をお打ちあそばしたのは、異つた事件でも出來たのでございませうか。』

『そんな氣遣ひは………けれども妻の貴女にではなくて、母のわたしに宛たのがチト變だね。』

さう言ひながら、急心地に電報の封を押し切つた幹尾は、詰らぬ騷し立てするのは嫌ひな氣性から、いつもの癖で聲を出して、

『アスカエル、ソレマデニシホコチ………』ここまで一氣に讀んだが、その跡の五文字を見ると、覺はず顏色を變へずにはゐられなかつた

『シホコチ………』と、わが名を讀まれた志保子は、怪しくも胸をとゞろかせ『わたくしが何うしたと書いてございますか。』

『いゝえ、今のは………あの今のは。』と、幹尾は慌てゝ打消した。『ついうつかりして讀違へたのですよ。さあ、もう一度讀み直すから聞いておくれ。アスカエル、ソノゴシホコハブジカ………明日歸る。その後貴女は無事か、別に病わづらひをしては居らぬかと、夫婦が別れてゐれば當り前ながら旅先でまで妻のことを氣遣うてゐるものと見ゆますね。』

『そうまでお心にかけて下さるかと思へば、斯うして寢てはゐられません。それに、どこが惡いといふ程でもございませんから、今日は直に床を揚げさせませう。』

『いゝえ、いゝえ、そんな無理をしてはなりません。』と、彼の電報を四つに折つて帶の間に差入れながら幹尾は言葉やさしく遮つた『惡うごゆゑ、萬一、無理な事して服を惡くでもするとなりません。東京驛へはいづれわたしが出迎へますから、貴女は家で留守をして貰ひませう。』

『ね!あのお出迎ひがされませんので………』

『それが今も言ふ通りの事情で、姑がついて居りながら悴から怨まれては、わたしの立瀨がなくなるからね。』

志保子は嫉しげに姑を見た、良人の昇一郎は元より、未だ逢つた事のない遠方の親戚からの消息でも、たゞの一度として隱さずに見せる幹尾が、今日の電報に限つてなぜ見せてはくれないのだらう………決して姑を恨む譯ならねど今日ばかりは何となく奥齒に物が挾まつたやう。けれど、他家より緣付いた嫁の身で、それを兎や角言ひ爭ふべき權利はない。

『お・、わたしは飛んだ物忘れをしてゐました。』と、幹尾は何やら急に思ひ出した體で『ちよつと隱居所まで行つて來ます。あとで又お見舞に來るゆゑ、寥にも輕卒をしないやうに頼みますよ。』

『………はい。』

『では、御免なさい。』

幹尾がそゝくさ立去つたあとで志保子は一人淋しく物思ひに耽つてゐたが、やがて臥床から脱け出でると、冷たい廊下を素足の忍びであるき、そつと立寄つたのは、襖一重を隔てた隱居所の次の間である。

さりとも知らぬ幹尾は、四隣に人の氣勢なしと確かめてから、再び彼の電報を取出した。

『アスカエル、ソレマデニシホコチリベツセヨ………何うも解らない………いくら考へてもさうとより讀めないけれど、そんな馬鹿々々しいことのあらう筈はない、ね。』

それを襖の蔭で洩れ聞いた志保子は、不意に惡魔から頸筋を摑まれたやうな思ひした。

今般東京生そば松葉を讓受け候に付御披露として三月八日より向ふ三日間特に貳割引可仕候
京城明治町二丁目電話八三貳番
松葉

『句集』を讀みて　(下)

超洋生

芹郎氏の句は鳥堂氏流に言はゞ何の苦もなく流暢に有の儘出でたる自然味の豐なる秀句ならんも余輩の見地よりすれば聊かこれを異にすこれ標準を異にするの理の當然なるもの也

のお祝ひに白酒を飲みて醉ひたる正に上氣の程度思ひ遣らる・之れを以て生命に充てるものとは思はれず。苟くも俳句と名稱する以上從來の俳句にありし俳味の萬分の一にても有りて欲しきもの也少しく過言なるべけれどこれ程のには何は七八歳の少女にても口にする事ある可し。由之觀是、吾人は隨時隨處に『我等の俳句』を散見するを得む。然らば乃ち『我等の俳句』は此の如きものと類を同じくし道を等しうすべきもの也や

鳥堂貴下

苟くも『我等の俳句』として公表さる・以上余輩等の如き句解に敏且つ明かならざる者の爲にその深遠なる趣味の有る處をその句々に就きて詳細に評釋を附加されむ事を切望す。

『我等の俳句』に理解ある諸氏の作品を歡迎すとあれど未だ『我等の俳句』なるもの、主張の全般を知られざる限り『我等の俳句』としての眞の句は之を穫るに蠢し難かるべし。

多くの場合理窟と主張は後に附するものなれ共、既に『我等の俳句』の例ある以上一日も速かに其理と想の存する處を闡明されむことを望む。

幸にしてその本質を知るを得ば余輩等も亦共鳴する處多かるべく從つて『我等の俳句』に依りて醇なる趣味を得るの喜びに浴する事を得む。關範するに當り『我等の俳句』の健全なる發育を祈る。—(完)—

◎暖氣と傳染病　飲食物の注意

今年は例の流行性感冒が蔓延の爲め他の傳染病は鳥渡忘れられたやうな形であります而し

◇嚴寒　の中はそれ程でもありませんが氣候が少し溫暖になつて來ると傳染病は亦次第に殖ゑて來るのであります而して各種の傳染病が人に傳染する經路を調べると何うしても之は飲食物と共に人の口に入るのが多いのです其飲食物の中でも水が傳染病の媒介となる場合は最も多い東京其他の大都會では大概水道が出來て居りますが水道の無い處又水道があつても

◇水道　水を使用せず井戸水を飲む者には是れが一番に危險であります元來日本の井戸は甚だ構造が不完全で其上井戸端で色々の汚い物を洗ひます其汚水は遠慮會釋なく地下に透みて之が井戸の中に入りますから井戸水は實に危險であります若何うしても井戸水を使はなければならぬならば之は是非共一度煮沸させる必要があります、それから次は飲食物です飲食物の中にも

◇野菜　は肥料に人糞を使ふことがありますから綺麗なやうで汚いものです之れには色々の黴菌が附着して居ると云はなければなりません凡て野菜は煮て食るに限りますが何うしても生で食ねばならぬやうな場合には之を熱い湯をくぐらせるか又は熱い湯を煮立たせて暫くして或時間內其上に野菜を置く必要があります又野菜の次には

◇魚類　が危險です魚類は淺瀬で漁れた儘の時には左程に危險でありませんが之を運搬する間に色々の黴菌が附着しますから魚類は是非共燒くとか煮るとかしなければなりません

◎感冒に効く　乾した蚯蚓　容易に發汗する

流行性感冒も大分下火になつたやうですがまだあちこちに患者のあるとを聽きます感冒を發汗させるには蚯蚓が大變好いとは昔から言ひ傳へられてゐますが今回の流行感冒にも蚯蚓を用ゐて大分救かつた人があるさうです藥屋にゆくと蚯蚓の乾かしたのを賣つてゐますそれを土瓶に容れて水で煮ます茶つ色になるまで煮たものを普通の茶飲み茶碗に半分位宛日に三回宛飲むと極めて容易く發汗するので感冒が早く癒るさうです

我等の俳句

□出代　五の日十の日會

盛つた飯がしろく雀の聲がする出代つた　浮碧樓

出代ひるすぎわづかに親しく雀葉散り來る

○　眞敏

出代女ら騷がしくこの驛を過ぎて荷物

○　金龜城

日の光つよく出代の女の伸よ

○　阿岐良

出代りの朝の唄が大膽です

○

廊下日當る箱子戸で出代の瞳によ

この暗き段梯子見上げては出代れるもの

○　鳥堂

出代る軒の高さでは往來を見た

私が果物店に立つて出代らない

—三、五—

投書の領分

此頃地方から京城に來て居る朝鮮人は幾萬にも達して毎日市中をブラ〳〵見物して居るが彼の人々に何にかイ[illegible]な處を見せてやつては何うです、鳥渡云つて見ると總督府の椅子とか、中央試驗所とか、聊かにても智識の爲めになりますよ(老鮮人)▲米が下ると共に、物價が下り相なものだのに、上つた物價は下らぬ事に酒が遠慮なく上るのは何うした譯だ、まさか禁酒に贊成した譯でもあるまい、安い米で造つた酒なら安く賣つても好いではないか、井戸端は迎合して內地酒を一切呑まぬ事にしようではないか(源殺の會孫)▲昨紙も上に何時も出て居る本町通行取締の事は大贊成であるが、取締を勵行の[illegible]みに委かせる者は公徳を重んずべし、揖者は必ず左側を通行すべきであるが、何も人とぶつかつた事はない(瞬痒生)▲此頃自轉車は又實に亂暴だ、無鑑札者は之から大に注意せよ(一歐陽)▲京城の景氣は今頃好いか、惡いか新參者にはすつかり判りませぬが、何方ですか(新渡鮮來)▲京城には家は火の車でも衣裳ばかりはらうとする婦人が少くない、綺麗ばかりあまり美しくない奥様二人きりの時分お顏に白ペンキをぬりたてゝ人に負けないほどの衣物を着て、つんと取りすまして歩いてゐたが、子供が出來てからは別人の様にみすぼらしくなり、子供にははげた着物を着せて、髮の毛がかけなど見られもしない、奥様の虛榮心をみたすには、その一ぱい出すべき餘地がないのだらう、一般の若奥様方よ分にすぎたことはおよしなさい(笑はれますよ(城隊の町人)▲南山の京城神社へ參詣する爲の勞道は雨降りの後など一般なま道いか早く石道路をつけたいものである(日參生)▲京城での簡易生活は一ケ月三百圓の借家を借りて、贅沢の資本で金拂濟ませば確かに月十圓以內であがつて無か氣側に登遊代だけ飲めるよ(得徳齋)▲東大門外の[illegible]の金泉は近所三モウ水が解けたので、大小無數の鮑賊が澄徹たる溪の水の中に、其の涙はしく泳ぎ戯つてゐる、休みの日に運動がてら行つて見るのも面白からう(見て來た生)

◎支那勞働者　歐洲に赴ける

支那の對獨宣戰は千九百十七年八月十四日であつた[illegible]しで支那勞働者の助力を借りることになつた事は既に世人の熟知せる所である支那勞働者の佛蘭西に於ける[illegible]守したことは殆んど軍隊と異なる所は無かつたさうである在佛▲支那勞働者　の數は最も多い時には無慮十五萬人と稱せ[illegible]國の各工場に働いて經濟事業の發達を助けて其の內の大部分は政府の經營せる所謂戰時工業に從事すれば火藥工場、軍器製造工場、兵[illegible]た支那政府は▲僑工事務局　を特設し募集及び支那勞働者の保護問題に注意を怠らず[illegible]西人も流石に舌を捲いて感心したさうである彼等を扱ふ當事者も亦種々の方法を設けて或は其資金に利殖の途を講じ或は支那本國に送[illegible]者も尠くないが彼等は皆相當の貯金を抱いて歸らぬ者はない支那勞働者が其の本國を益したるは明かである[illegible]

[illegible]は預金合計十一億千九百二十七萬千九百四圓にして前週に比し二百十四萬二百七十九圓前年同期に比し三億七千八[illegible]七十六萬二千六百十八萬七百二十七圓を増加せり又金銀有高は八千六百四十三萬七百七十九圓にして前週に比し二千三百二十三萬六千二百九十四圓[illegible]

三味線獨稽古

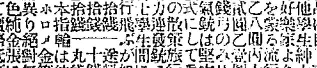
杵屋さんの新案で完全に出來あがつた三味線獨稽古、歌も獨りで歌へる便利の傳授本を賣出しました棹へメートルを貼つて、勘所を定める式ですから誰でも七日で上達します、博多節、松づくし、カチユーシヤ、角力甚句、磯節其他二上り、三下り、本調子十餘種の歌が出來る樂譜二冊を添へて代價金七十五錢、郵送料四錢、辭士諸君よ、ズクに御注文ありて人の知らぬ間に立派な藝人となり給へ 代金引替御注文は送料御自辨の爲金九十錢となり升

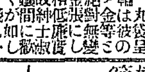
東京芝區新堀町三十一番地　樂音會　振替東京四一七二八番

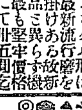
破天荒格安賣物

我社は今回當市の某々雜貨商の休戰後不景氣の爲め其整理を引受け殘品を破天荒の値段で賣捌く事を目的とし[illegible]

新式優美　ヴァイオリン　堅牢正確　單發式空氣銃　優美無變色　指環　時計







日本通信社代理部　大阪市北區梅田新道交叉点前　振替大阪三三九一三番北九七八

りん病　消渴にて困難の方は弊家に

如何なる慢性も不思議に効能ある家傳の靈藥が有ります人助けに分藥す試驗切手封入此新聞名を記し至急申込あれ詳報します

愛知縣東春日井郡鳥居松村　荒川酒造店

乳母入用　生後八十日の男子乳母至急入用特別高給御相談　辰巳樓

登録商標　本椿香油　毛を黑く長くつやを出し　赤毛くせ毛ぬけ毛折毛等を防ぐ事妙　本舖　大阪西横堀　三宅堂

●好評―激賞―利殖の源泉●　廿圓投資　せば四月に六圓半以上一年に元利四拾七圓以上三年には元利二百九拾圓に利殖する、責任保證付收利方法■無代送呈■大阪堂島中町堂　櫻商會

黑鉛　土狀、土狀粉、賣買　大阪市外鷺洲町南濱一九四地　黑鉛商　石川吉太郎

拾得金公告　一金壹百七拾四圓也　右は三月二日拾得屆出あり心當の者は申出らるべし　京城本町警察署

お土產好適品　朝鮮名物　金剛山(らくがん)　金剛飴　各種　金剛團子　各種　金剛羊羹(松の實入)　栗羊羹　各種　の御用は!　京城ゝ本通り電話長六〇〇九番　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

家庭用絞り機械　各種荷著!!　並に關染及附屬品　金銀粉染料品揃　京城本町二丁目三番地　家庭藥販賣所　ミツワ　振替京城一五四〇番　電話長九二八番　木下藥房

質　大口歡迎　黃金町長橋町入口　電話二九一番　商品擔保便利取扱　田村質店

李王職用御　模範牛乳　ニウソ　石鹼洗粉　主場　京城蓬萊町四丁目　東亞牧場　電話二五番

京日案內　普通一回前金一圓七拾錢　番外一回前金二圓二拾錢　▲申込中掲載中止の節は料金[illegible]　▲六回以上の御申込は特に[illegible]　▲御照會は返信附にあらざれば回答せず

普通　◎桐材木賣却　約三萬才　但し立木の儘　元山本町三丁目　藤井商店

番外　◎古本熱心高價買入　◎是非御試賣を乞ふ　◎電話二一九五番　▲本町二丁目　▲御報參上　▲群書堂

◎店員採用　運送係　內地人卅五歲迄數名希望者面談　京城南大門通五丁目　仁川港町三丁目　協同組

◎集金人◎給仕　右募集ス希望者ハ履歷書携帶來社アレ　京城黃金町二丁目　明治生命保險會社京城出張所

店員募集　數名　男　高等小學卒業以上　女　二十五歲以下希望者履歷書携帶にて來店あれ(電話二九五番)　京城南大門通二　羅紗商　陸商會

看護婦及見習入用　至急面談　シメノウチ科醫院

小供入用　二、三名　女中一名入用　京城旭町一丁目電話二千百八番　中島印刷所

女事務員給仕　十八歲迄　女學校卒業程度　小學校卒業程度　右採用　履歷書持參本人來談あれ　東亞煙草株式會社　京城驛前